

2025 年度版

あいち観光戦略に基づく 観光振興施策の実施状況

(2024 年度年次報告書)



本書は、愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の 2024 年度の実施状況に関する報告を行うものです。

目次

あいち観光戦略 2024-2026 の概要	1
1 数値目標の達成状況	3
(1) KGI 達成状況	4
(2) 関連 KGI 達成状況	6
2 2024 年度の観光振興施策の実施状況	10
展開分野Ⅰ 地域資源の観光コンテンツ化	10
展開分野Ⅱ PR・プロモーション	15
展開分野Ⅲ 受入環境の整備	22
展開分野Ⅳ 観光地経営体制の強化	25
展開分野Ⅴ MICE の誘致・開催に向けた取組強化	29
3 2025 年度の主要な観光振興施策	33
展開分野Ⅰ 地域資源の観光コンテンツ化	33
展開分野Ⅱ PR・プロモーション	36
展開分野Ⅲ 受入環境の整備	40
展開分野Ⅳ 観光地経営体制の強化	42
展開分野Ⅴ MICE の誘致・開催に向けた取組強化	44

* 本報告書は、主な事業を抜粋して掲載しているため、全ての施策、事業が掲載されているものではありません。

あいち観光戦略2024-2026の概要

1 基本的な事項

策定の目的	観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、魅力ある活力に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上に寄与することにより、訪れる人（旅行者）、住む人（県民）、働く人（観光関連事業者等）が満たされた状態（ウェルビーイング）を実現する。
位置付け	①愛知県観光振興基本条例に基づく観光振興に関する基本的な計画 ②「あいちビジョン2030」及び「あいち経済労働ビジョン2021-2025」に連なる、観光振興分野の具体的な計画
期 間	2024年度～2026年度（3か年）

2 愛知の観光を取り巻く状況

観光マーケットの傾向

- 観光消費喚起事業による国内旅行マーケットの下支え
- インバウンド需要の回復・増加
- 観光関連産業における人員不足感の高まり
- 「新たな旅のスタイル」の進展
- パーソナルで高付加価値な観光需要の高まり
- 持続可能な観光に対する意識の高まり
- 旅マエ・旅ナカ・旅アトにおけるデジタルの浸透
- MICE需要の回復・成長
- MICEマーケットの変容

「あいち観光戦略2021-2023」の評価・課題

- 本県が目指す観光の明確化と地域との共有
- 県－地域間の連携強化
- 運輸機関との連携強化
- 公式観光サイトによる情報発信力の向上
- 地域資源の観光コンテンツ化プロセスの確立
- 高級ホテル整備の進展
- 国際会議や展示会開催の定着・拡大
- インバウンド需要回復の遅れ
- 高付加価値な観光コンテンツの開発力・販売力不足
- デジタルシフトの遅れ
- 県民の県内観光推奨意向の低迷
- 多様な主体の巻き込み不足
- MICE開催地に経済波及効果が偏在
- 企業等の会議や報奨・研修旅行に係る実態把握の不足

3 目指すべき姿

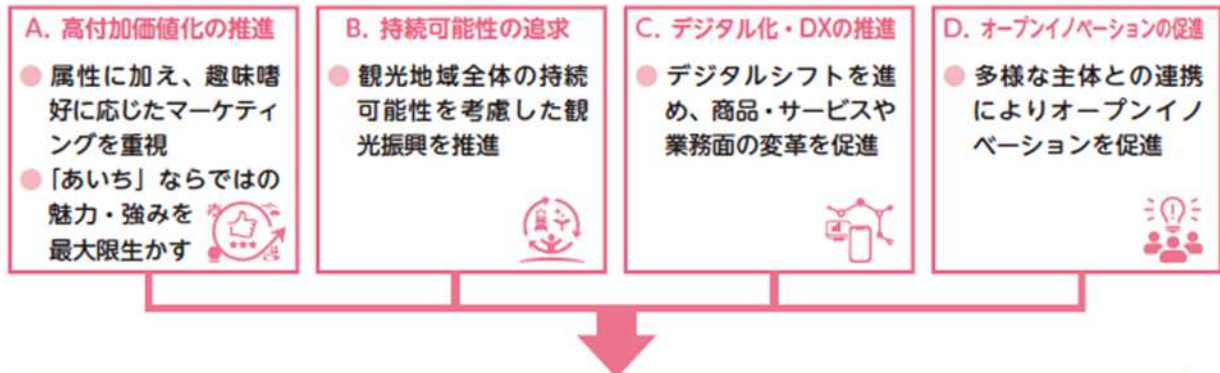
「さすが」と言いたくなる「観光県・あいち」

－ あいち「ツウ」リズム2.0 － 【革新・成長】【持続可能】【高付加価値】

本県には、歴史や産業、自然、文化、食などの地域資源が豊富に存在します。これら地域資源が持っている本来の魅力を、オープンイノベーション等を通じて高付加価値で持続可能な観光コンテンツとして磨き上げます。そして、本県を訪れた人に、思わず「さすが」と言っていたけりような、期待を超える感動を提供できる観光県を目指します。

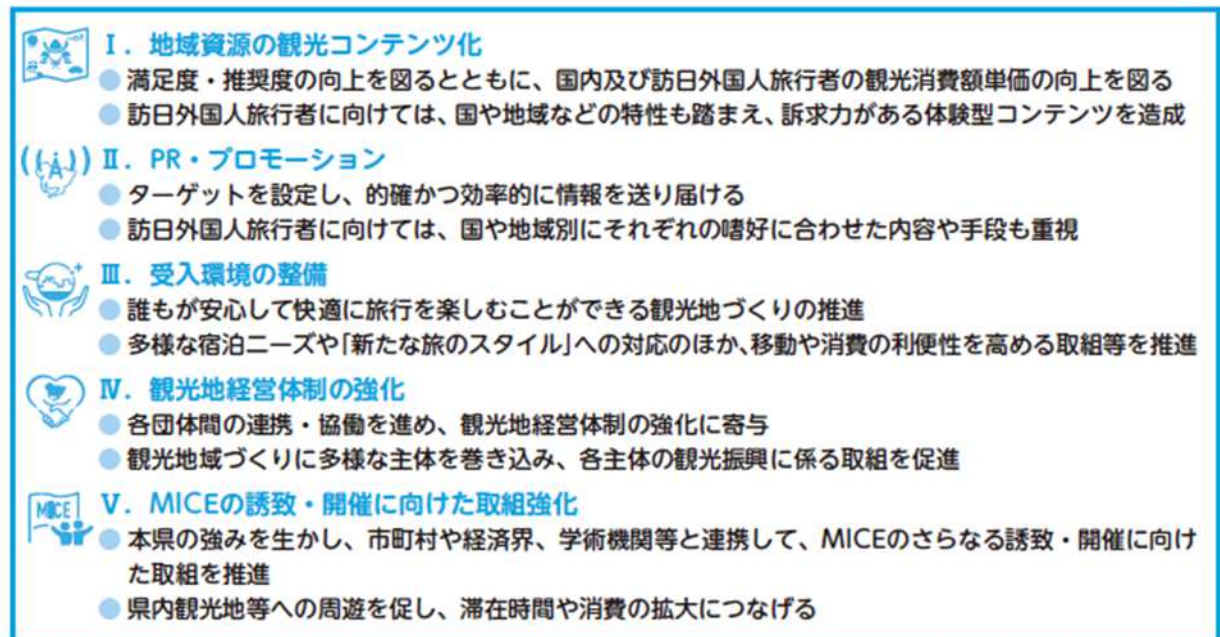
この目指すべき姿の実現を図るため、「革新・成長」「持続可能」「高付加価値」を切り口に観光振興施策を進化させます。

4 施策立案・実施にあたっての基本方針



5 施策の展開分野及び実施すべき施策

詳細は次ページ参照



6 数値目標

【質】 観光消費額単価 ※2019年比1.25倍	日本人 6,850円 外国人 80,000円	観光消費額 1.1兆円 うち外国人 3,040億円	満足度 全体50.0%、外国人50.0% 推奨意向 県民30.0%、県外在住者50.0% 再訪意向 県外在住者100.0%
【量】 観光入込客数 ※2019年水準	全体1.2億人回 うち日本人11,620万人回 うち外国人 380万人回		来県外国人旅行者数 290万人 延べ宿泊者数 全体2,000万人泊 (うち外国人 365万人泊) 国際会議開催件数 (JNTO基準) 260件

7 推進体制



1 数値目標の達成状況

「あいち観光戦略 2024-2026」において、計画最終年度(2026 年度)の目標として掲げている指標に対する達成状況は、下表のとおりであった。

		2023 年 実績	2024 年 実績	目標値 (2026 年)
観光消費額単価 【質】	日 本 人	9,260 円	8,386 円	6,850 円
	外 国 人	80,135 円	119,436 円	80,000 円
観光入込客数 【量】	全 体	1 億 12 万人回	1 億 1,073 万人回	1.2 億人回
	日 本 人	9,842 万人回	10,816 万人回	11,620 万人回
	外 国 人	171 万人回	256 万人回	380 万人回
観 光 消 費 額	全 体	1 兆 482 億円	1 兆 2,131 億円	1.1 兆円
	外 国 人	1,370 億円	3,060 億円	3,040 億円
来県外国人旅行者数		118 万人* ¹	251 万人	290 万人
延べ宿泊者数	全 体	1,886 万人泊	2,132 万人泊	2,000 万人泊
	外 国 人	201 万人泊	391 万人泊	365 万人泊
国際会議開催件数 (JNTO 基準)		25 件 (2022 年)	69 件 (2023 年)	260 件
満 足 度 (「非常に満足」の割合)	全 体	36.9%	43.8%	50.0%
	外 国 人	44.9%	51.4%	50.0%
推 奨 意 向 (高位層* ²)	県 民	17.4%	21.4%	25.0%
	県外在住者	25.7%	33.1%	50.0%
再 訪 意 向	県外在住者	90.9%	93.4%	100.0%

*1 来県外国人旅行者数を算出する因子のひとつである「都道府県別訪問率」を測定する観光庁「訪日外国人消費動向調査」の1-3 月期が欠測のため、値は4-12 月の数値を参考値として算出。

*2 「愛知の観光をまったく推奨しない」を0 点、「とても推奨したい」を10 点とした場合に、9~10 点と回答した層。

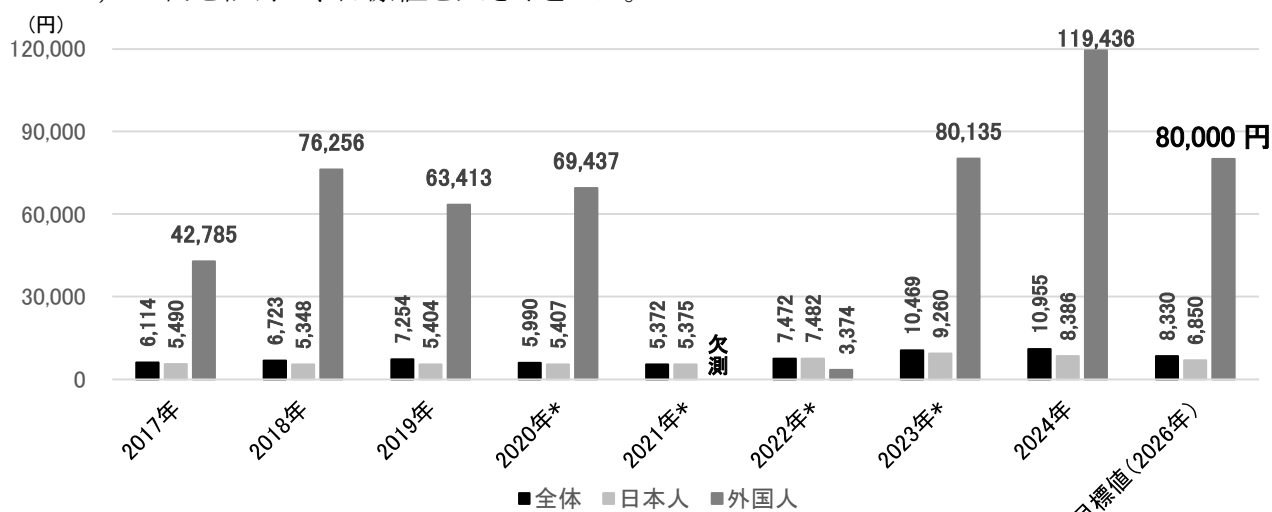
(1) KGI(Key Goal Indicator: 重要目標達成指標)達成状況

2024 年の本県の観光は、コロナ禍からの本格的な復調が鮮明となり、観光消費額は過去最高を記録するとともに、2026 年の目標値を前倒して達成した。特に、外国人の観光消費額の前年からの伸びは顕著であった。

一方で、観光入込客数は、前年を上回ったものの、コロナ禍前の 2019 年の水準には届かなかった。

(ア) 観光消費額単価【質】

2024 年の観光消費額単価は、日本人が 8,386 円と前年より減少したものの、目標値を上回る水準を維持しており、安定的な消費傾向が見られた。外国人の消費額単価は過去最高の 119,436 円を記録し、目標値を大きく超えた。



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」

*2020 年は、愛知県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019 年推計値等を参考に年間値を算出。

*2021 年は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」及び愛知県「愛知県観光入込客統計」が一部実施できなかったことから、外国人の観光消費額単価は欠測。

*2022 年および 2023 年の外国人の観光消費額単価は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の一部が実施されなかったため、愛知県「愛知県観光入込客統計」における推計を参考値として記載。

(イ) 観光入込客数【量】

2024 年の観光入込客数は、日本人は 1 億 816 万人回、外国人は 256 万人回と、ともに前年を上回った。なお、2019 年と比較すると、日本人は 94%、外国人は 68%にとどまった。

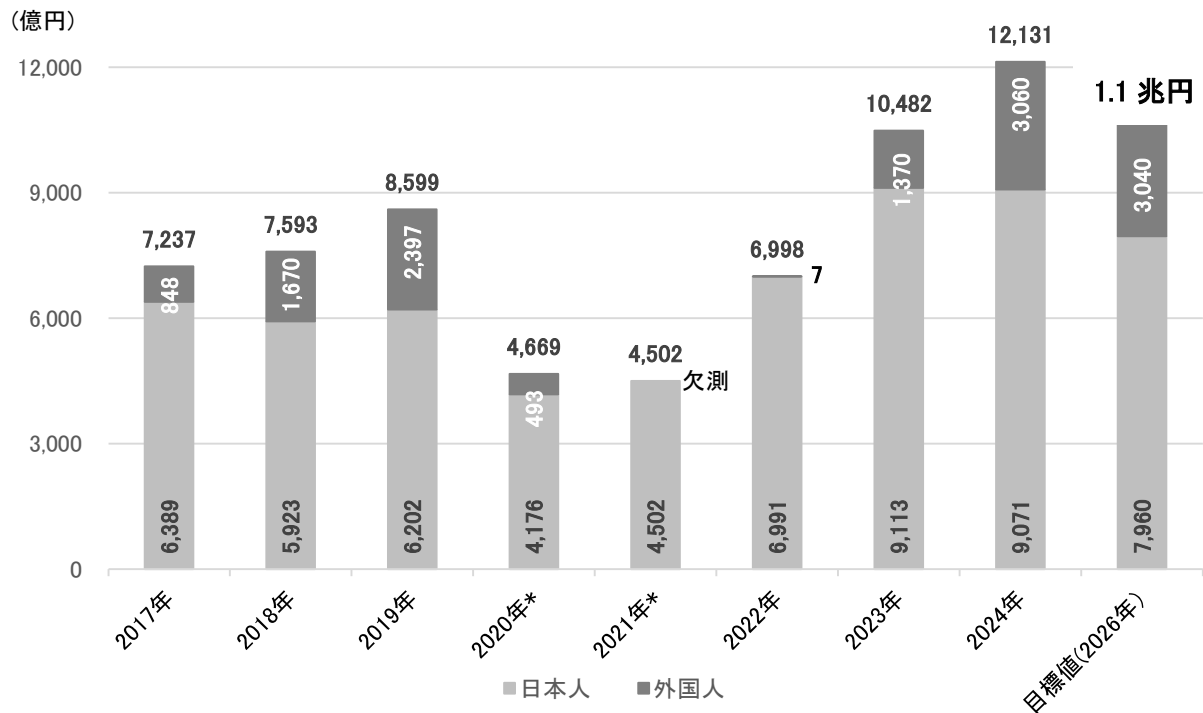


出典：愛知県「愛知県観光入込客統計」

*2020 年は、愛知県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019 年推計値等を参考に年間値を算出。

(ウ) 観光消費額

2024 年の観光消費額は、1 兆 2,131 億円で過去最高を記録し、目標値を達成した。特に、外国人の消費額は、前年比 2.2 倍と大幅に増加した。



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」より算出。

*2020 年は、愛知県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019 年推計値等を参考に年間値を算出。
 *2021 年は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施されなかったことから、訪日外国人の観光消費額単価は欠測。
 そのため、観光入込客数と観光消費額単価から算出する観光消費額も算出していない。

【参考】居住地・宿泊/日帰り別観光消費額の推移

訪日外国人の宿泊者の観光消費額は前年比 2.25 倍と大きく伸びており、宿泊型消費の拡大が顕著となった。

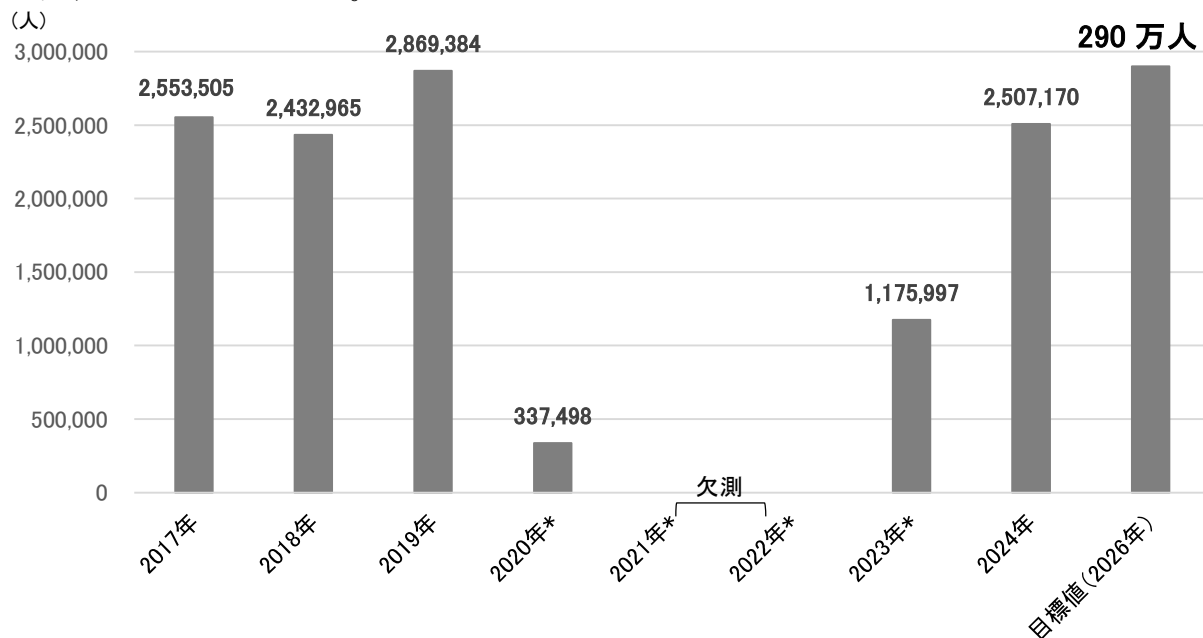
	2023 年(億円)	2024 年(億円)	2024/2023 年比
県内在住者・宿泊	890.1	965.6	1.08 倍
県内在住者・日帰り	2,355.3	1,922.6	0.82 倍
県外在住者・宿泊	4,060.5	3,977.4	0.98 倍
県外在住者・日帰り	1,807.1	2,205.1	1.22 倍
訪日外国人・宿泊	1,355.8	3,050.1	2.25 倍
訪日外国人・日帰り	13.7	9.8	0.72 倍

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」「愛知県訪日外客動向調査」より算出。

(2) 関連 KGI 達成状況

(ア) 来県外国人旅行者数

2024 年の来県外国人旅行者数は 2,507,170 人で、前年から大幅に増加したものの、2019 年の水準には至っていない。



出典：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」より算出。

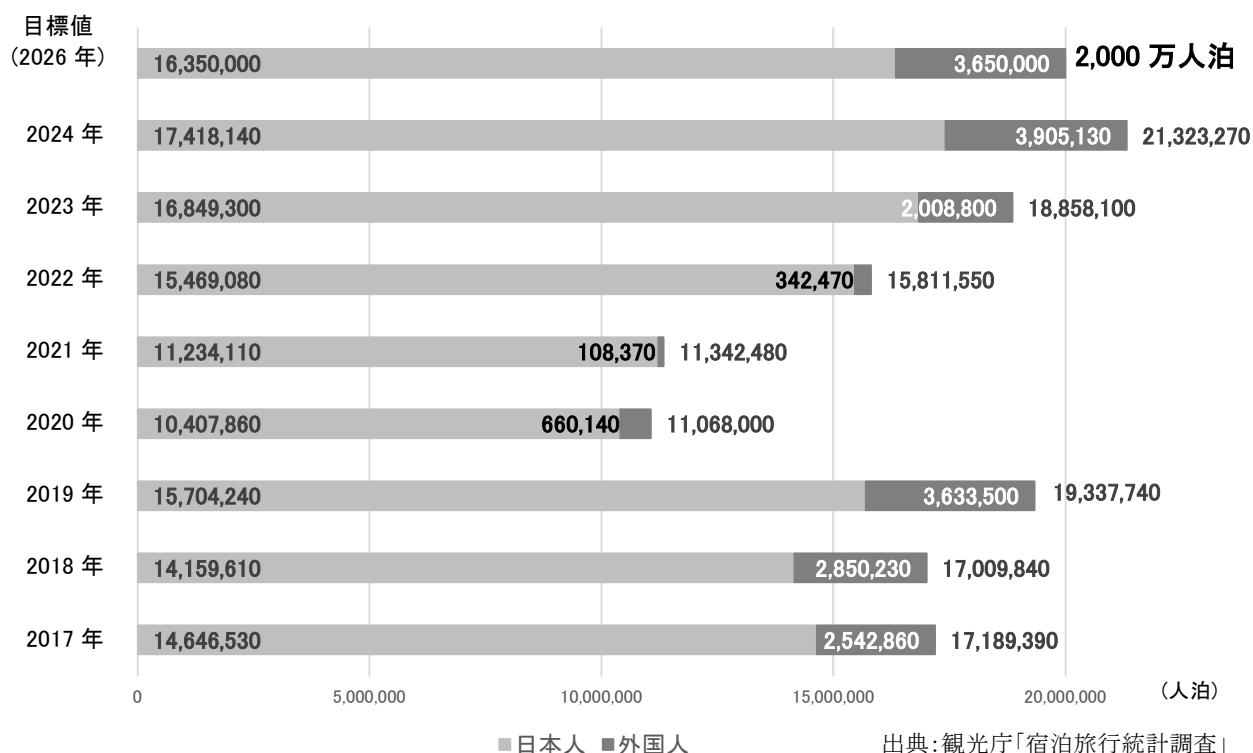
* 来県外国人旅行者数を算出する因子の一つである観光庁「訪日外国人消費動向調査」の「都道府県別訪問率」について、2020 年は 1-3 月期の訪問率のみ公表されていることから、1-3 月期の訪問率のみで算出。

* 2021 年及び 2022 年は、訪問率が公表されていないことから欠測。

* 2023 年は、4-12 月期の訪問率のみ公表されていることから、4-12 月期の来県外国人旅行者数を参考値として算出。

(イ) 延べ宿泊者数

2024 年の延べ宿泊者数は、日本人 17,418,140 人泊、外国人 3,905,130 人泊となり、ともに前年を上回るとともに、目標値を前倒しで達成した。

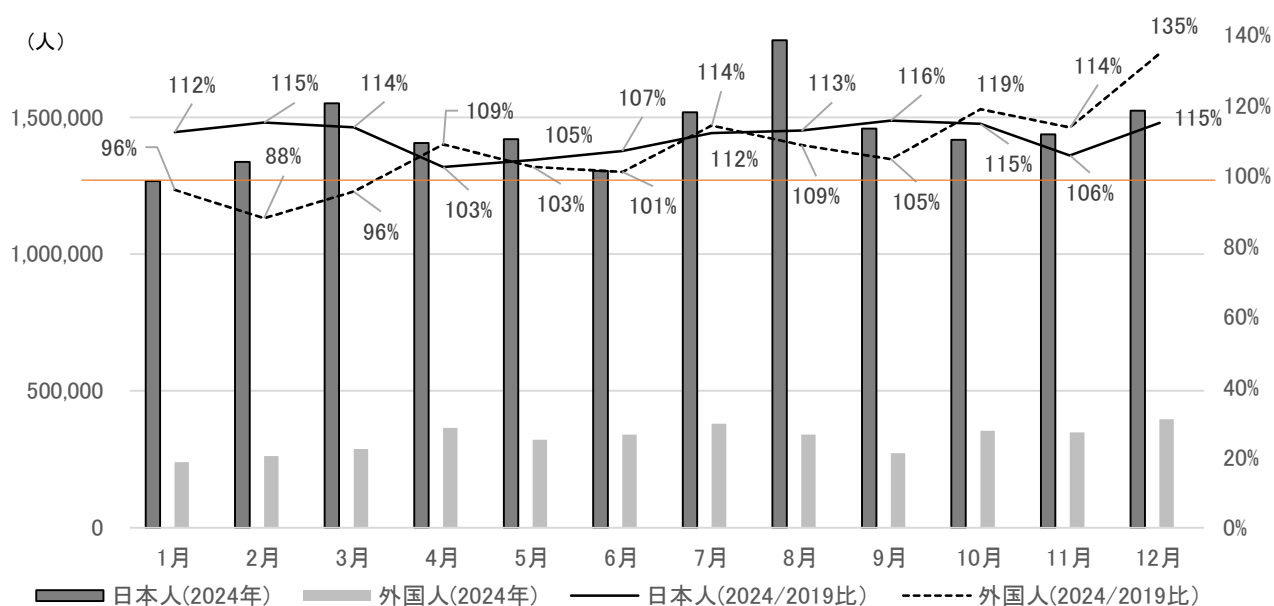


■日本人 ■外国人

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

【参考】月別延べ宿泊者数の 2019 年比の推移

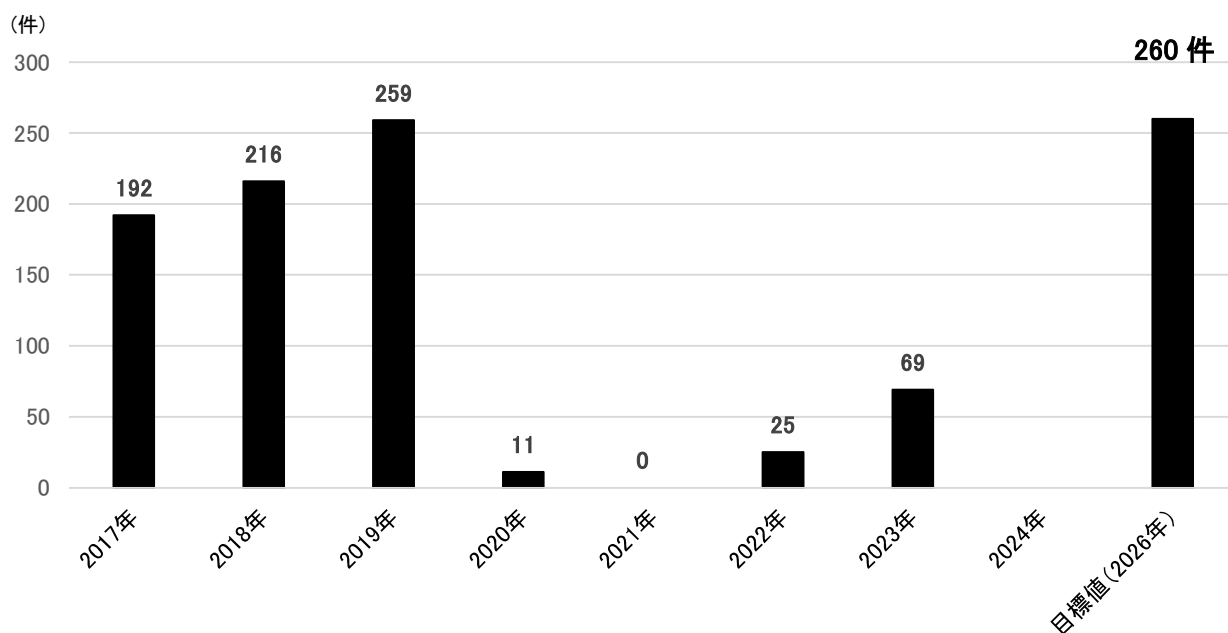
2024 年の月別の日本人延べ宿泊者数は、年間を通じて 2019 年を上回った。一方、外国人延べ宿泊者数は 2024 年 4 月以降、2019 年を超える水準で推移した。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

(ウ)国際会議開催件数

2023 年の国際会議開催件数は、回復傾向にあるものの、2019 年の水準には戻っていない。なお、都道府県別の開催件数の順位は、2019 年の 7 位に対し、2023 年は 6 位であり、全国的な推移と大きな差はなかった。

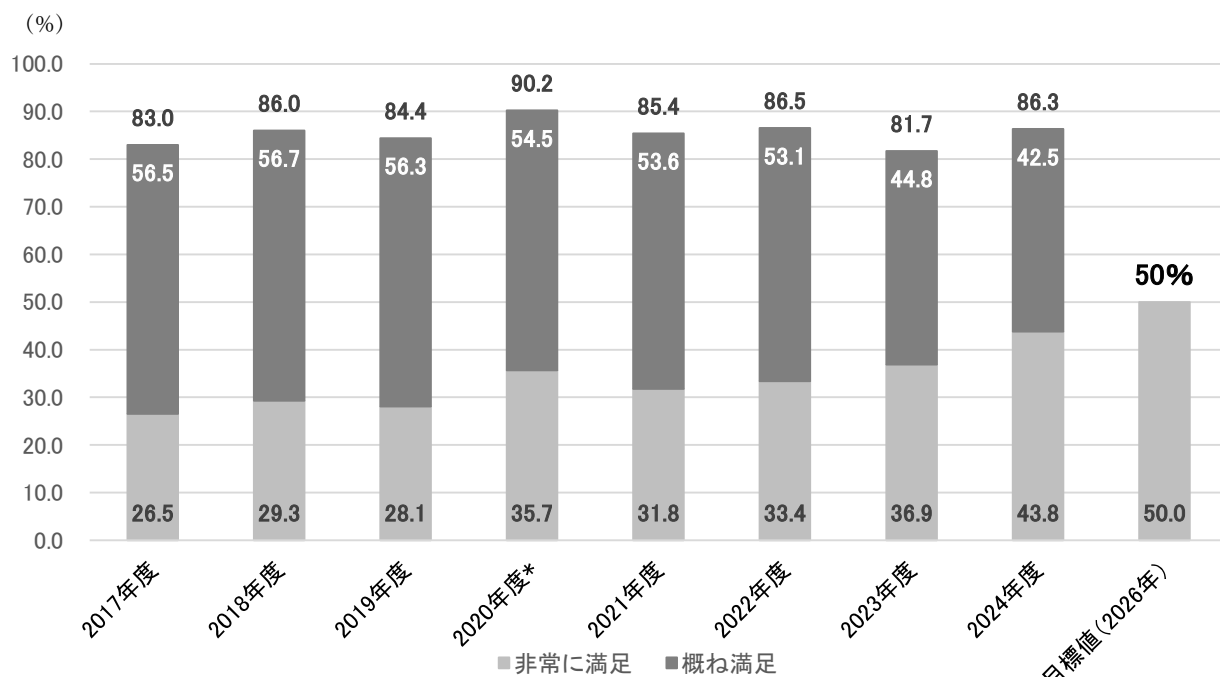


出典：日本政府観光局 (JNTO)「国際会議統計」

* 国際会議とは、国際機関・国際団体または国家機関・国内団体(民間企業を除く)が主催する、参加者総数が 50 名以上、参加国が 3 か国以上の会議(日本政府観光局(JNTO)の「国際会議選定基準」)。

(エ)満足度(全体)

「非常に満足」と回答した割合は 43.8%で、過去最高を記録したものの、目標値には至っていない。

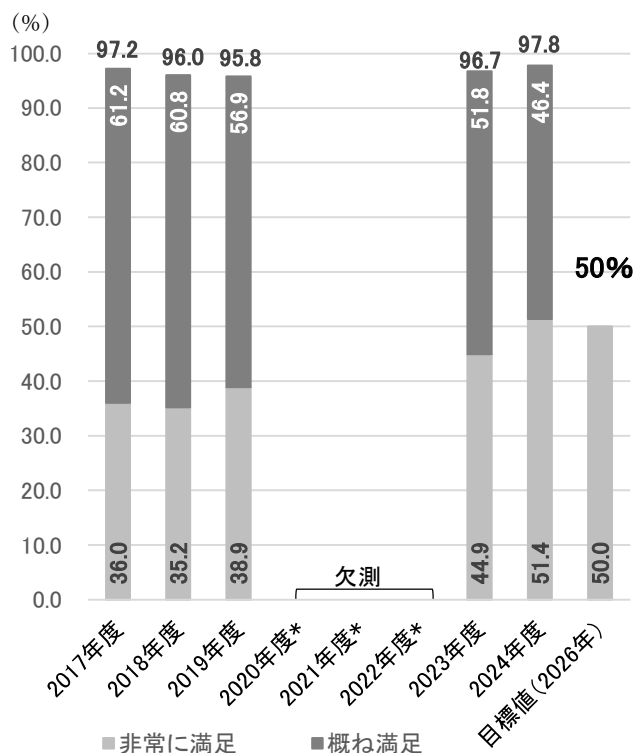


*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで満足度を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

【参考】満足度(外国人)

「非常に満足」と回答した割合は 51.4%で、過去最高となり、目標値を達成した。

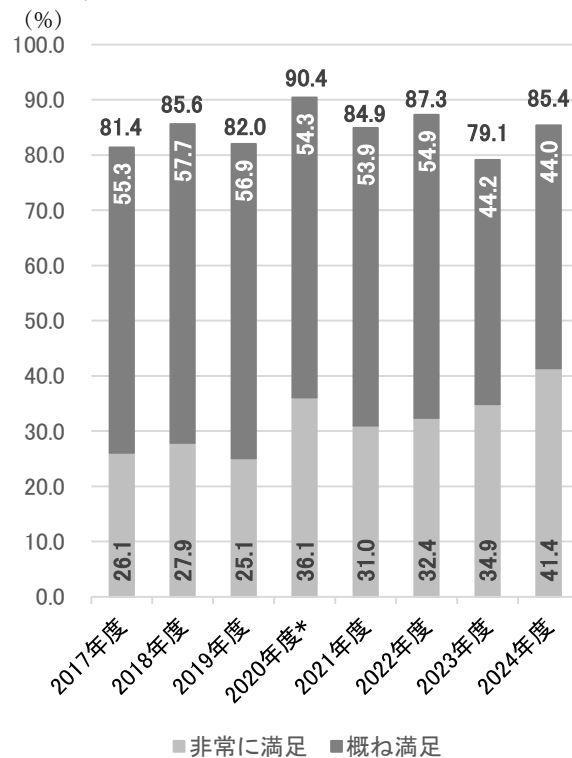


出典:愛知県「愛知県訪日外客動向調査」

*2020～2022年度は、愛知県「愛知県訪日外客動向調査」が実施できなかったことから欠測。

【参考】県内在住者満足度の推移

前年に比べ、「非常に満足」が大きく伸びた。

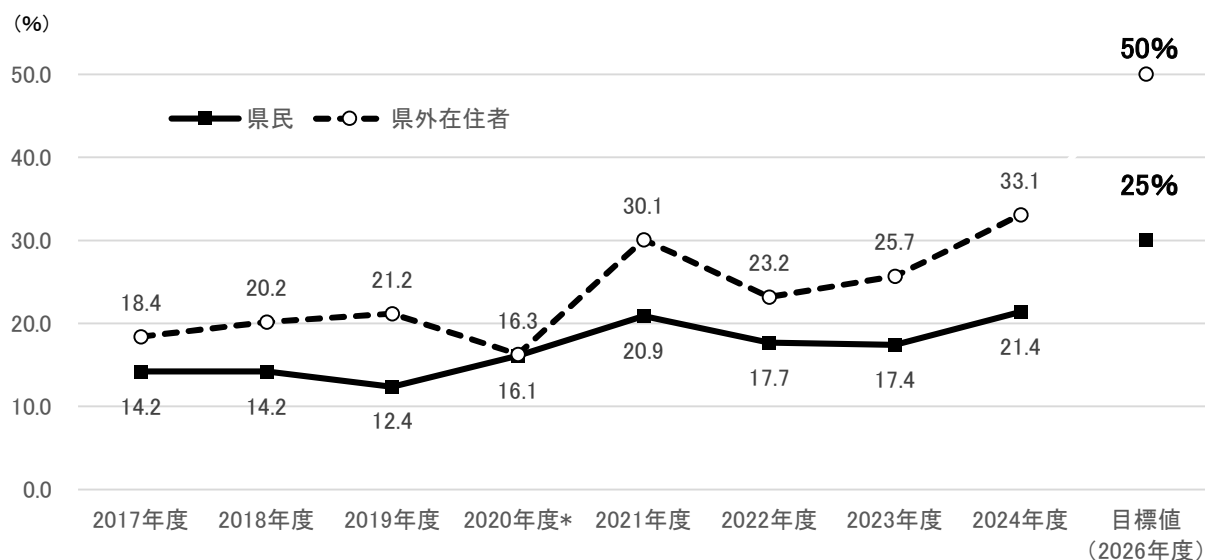


出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで満足度を算出。

(オ)推奨意向

推奨意向は、県民 21.4%、県外在住者 33.1%と、それぞれ過去最高を記録したものの、目標値には至っていない。

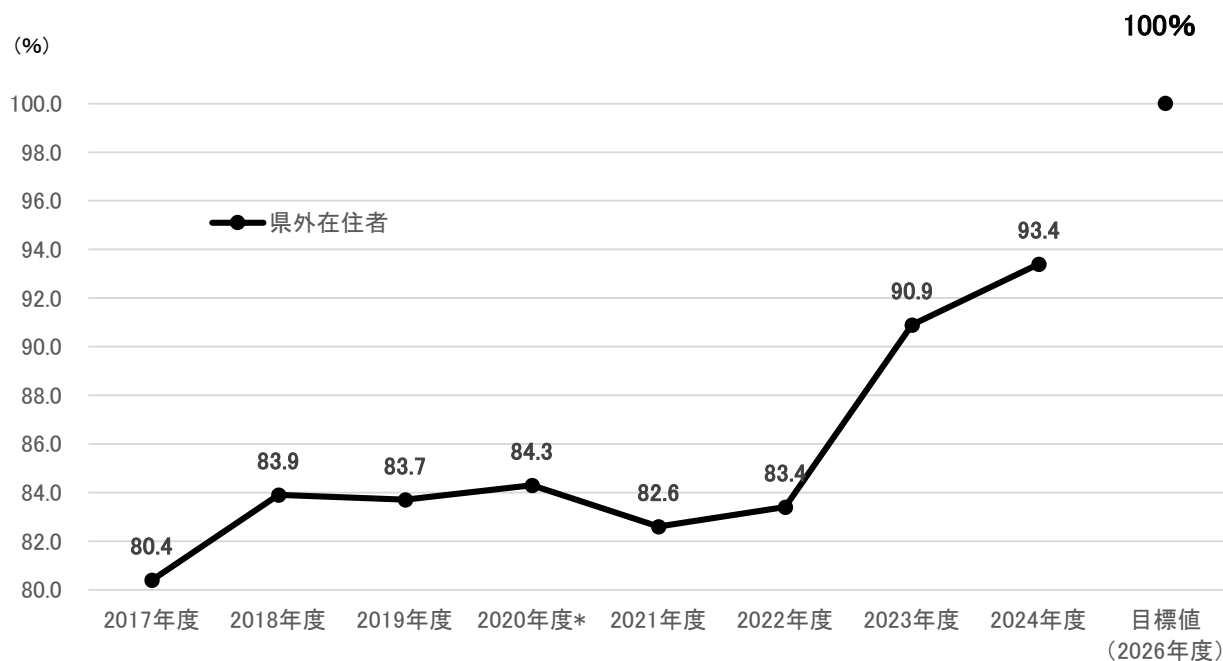


*2020 年度は、10-12・1-3 月の 2 期のみで推奨意向を算出。

出典: 愛知県「観光地点パラメーター調査」

(カ)再訪意向

県外在住者の再訪意向は、過去最高の 93.4%となったものの、目標値には至っていない。



*2020 年度は、10-12・1-3 月の 2 期のみで再訪意向を算出。

出典: 愛知県「観光地点パラメーター調査」

2 2024 年度の観光振興施策の実施状況

展開分野Ⅰ 地域資源の観光コンテンツ化

A. 高付加価値化の推進

①資源の持ち手に対する観光コンテンツ化の理解促進

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツを造成するため、資源の持ち手・担い手(生産者や食品加工業者等)に対し、本事業に参画することで得られるメリットを紹介する説明会を実施。

《実績》

説明会参加者:14名

【新規事業】愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・協議会構成員及び関係者へ向けて、有識者等によるインバウンド受入れの意義等の講演を行うシンポジウムを開催。

《実績》

開催日:2024年10月8日

参加者:142名(会場84名、オンライン58名)

【TOPICS ①】愛知「発酵食文化」振興協議会の設立

本県は、「味噌」、「しょうゆ」などの多種類の発酵調味料や、「日本酒」、「漬物」などの発酵食品が盛んに製造される集積地です。かつて海運により江戸に運ばれた酢は、現代の握り寿司の原型である「早ずし」が流行するきっかけとなるなど、日本の食文化に大きく貢献した歴史もあります。

しかし、こうした愛知の「発酵食文化」について、十分に認知されているとは言えないことから、発酵食に関わる方々を構成員とした「愛知『発酵食文化』振興協議会」を2024年5月1日に設立しました。地域が一体となり、愛知の「発酵食文化」を振興し、国内外へ発信する取組を推進し、旅の目的地、デスティネーションとしての愛知の認知度を高め、世界から多くの人を呼び込んでまいります。

多彩な発酵食文化の物語 うまみ県あいち

キャッチコピー



※モチーフは「蔵」

ロゴマーク



愛知「発酵食文化」特設 Web サイト

②「ツウ」な人でも満足できる観光コンテンツの造成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツを造成するため、資源の持ち手・担い手(生産者や食品加工業者等)に対し、コンテンツの造成方法や販売方法を専門家が助言

し、地域資源の磨き上げを支援。

《実績》

申請件数:12 件

支援対象者:3 団体(株式会社田原観光情報サービスセンター、美浜武豊グッドローカル推進協議会、Rise's House (リセズハウス))

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- 市町村や地域観光協会、事業者を対象に、スタジオジブリ作品のファン層が満足できるような観光コンテンツを造成し、特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」で掲載。

《実績》

掲載件数:25 件(2025 年 3 月末時点)

販売数:1,789 件(2022 年 8 月からの累計)

- スタジオジブリ作品の声優による音声ガイドの実施。

《実績》

音声ガイド付きデジタルスタンプラリー実施期間:2024 年 9 月 1 日～2025 年 2 月 28 日

音声ガイドを聞いた人数:7,136 人

デジタルスタンプラリーと連携したモニターバスツアー:全 10 回

バスツアー参加人数:329 人

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- 市町村、観光協会等の地元関係者と連携して、地域資源を魅力ある観光コンテンツに磨き上げ、特設サイト「旅ろっ！愛知」で情報発信と販売支援を実施。

《実績》

「旅ろっ！愛知」サイト内の受託事業者造成コンテンツの販売件数:53 件、販売実績 893 人

【武将観光情報発信】(観光振興課)

- 武将観光資源に恵まれた本県の特性を生かし、全国の武将隊や忍者隊等が集結する「サムライ・ニンジャフェスティバル」を開催。

《実績》

開催日:2024 年 11 月 24 日

会場:県営都市公園大高緑地、来場者数:3 万人



【歴史観光推進】(観光振興課)

「サムライ・ニンジャ フェスティバル 2024」

- 三英傑をはじめ多くの武将たちの活躍の舞台となった歴史の現場において、著名な有識者によるガイドウォークを行う体験型イベントを開催。

《実績》

開催日:2024 年 11 月 4 日

場所:小牧山城、れきしるこまき(小牧山城史跡情報館)、小牧山歴史館

内容:小和田哲男静岡大学名誉教授の講演及び小牧山城現地解説ツアー

参加者数:30 名

【新規事業】愛知「発酵食文化」振興協議会【(国際観光コンベンション課) -再掲-

- 蔵元等と連携し、発酵をテーマにした体験コンテンツを 5 種類造成の上、コンテンツを組み合わせてツアーを企画・実施。

《実績》

開催日:2024 年 11 月 22 日、2024 年 12 月 13 日、参加者:各日 10 名 計 20 名

【新規事業】外国人旅行者観光コンテンツ造成支援【(国際観光コンベンション課)

- インバウンドの受入に意欲がある県内施設等を対象に、海外富裕層が満足できるような「本物の体験」等ができる体験型コンテンツの造成を支援。

《実績》

造成コンテンツ数:8 コンテンツ

- ・ インバウンドの受入に意欲がある県内施設等を対象に、海外個人旅行者が満足できるような体験型コンテンツの造成を支援。

《実績》

造成コンテンツ数:9 コンテンツ

【TOPICS ②】外国人旅行者向け体験型コンテンツの造成支援

近年、訪日外国人の消費傾向は、モノ消費からコト消費へと移行してきています。しかし、本県では、コト消費を促す体験型コンテンツの整備が十分であるとは言えないことから、2024年度から、外国人旅行者向け体験型コンテンツの造成支援に取り組んでいます。

富裕層向けの高付加価値な体験型コンテンツとして、手筒花火のプライベート鑑賞や、貸切遊覧船で国宝犬山城を眺めながらガストロノミー体験などのコンテンツの造成を支援しました。また、個人旅行者が自由に旅の行程に組み込むことができるコンテンツとして、西尾での茶畑・抹茶工場見学と点茶体験、豊川いなり寿司作り体験などのコンテンツの造成を支援し、オンライントラベルエージェント(OTA)で販売しました。



OTAに掲載した
コンテンツの販促用チラシ

【「あいち創業館」の運営】(スタートアップ推進課)

- ・ あいち創業館における本県ゆかりの創業者・経営者の業績及び産業についての情報発信。

③テーマ性の高い周遊観光コンテンツの造成

【愛知・岐阜広域デジタルスタンプラリー】(観光振興課)

- ・ 武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、岐阜県との連携によるデジタルスタンプラリー「見にトリップ・戦トリップ」を開催。

《実績》

期間:2024年7月19日～2025年2月28日

参加施設:200(愛知:100、岐阜:100)

参加者数:4,077人

「見にトリップ・戦トリップ」による施設来訪者数:21,063人



パンフレット表紙

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 歴史ファン層をターゲットにしたデジタルスタンプラリーを開催。

《実績》

期間:2024年7月1日～2025年2月28日

全10コース、参加者数:899名



パンフレット表紙

【インバウンド需要に対する県産農林水産物等のPR】(食育消費流通課)

- ・ Webサイトによるインバウンド向け農業観光ルートの紹介。

《実績》

県のWebサイトで情報を公開、「愛知県のインバウンド向け農業観光ルートとインバウンド受入事業者を紹介します！」(言語:日・英・韓)

④魅力ある観光土産品の開発

【愛知県観光土産品推奨並びに認定審査会】(観光振興課)

- ・愛知県観光土産品協会・愛知県観光土産品公正取引協議会主催の愛知県観光土産品推奨並びに認定審査会での知事賞の交付。

《実績》

審査会開催日:2024年2月29日、表彰日:2024年7月3日、応募数:18社62点

【愛知のふるさと食品コンテスト】(食育消費流通課)

- ・愛知県産農林水産物を活用した加工食品を新たに掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的に、愛知のふるさと食品コンテストを開催。

《実績》

審査会開催日:2024年8月1日、応募数:28商品

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

- ・「SDGsな旅」をテーマに、広く県内外から観光振興に資する企画を募集し、優れた企画を選定・表彰。

《実績》

観光まちづくりアワード応募数:54件

【花の王国あいちのPR】(園芸農産課)

- ・花と緑のイベント「あいち花マルシェ」の開催。

《実績》

名古屋ステージ:2024年10月31日～11月3日、鶴舞公園で開催

三河ステージ:2024年11月30日～12月1日、安城産業文化公園デンパークで開催

【食に関する観光の推進】(農業振興課・食育消費流通課)

- ・「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広くPRすることにより、都市と農村の交流人口の増加を促進。
- ・「あいちの農林水産フェア」の開催。

《実績》

開催日:2024年11月9日～10日、場所:金山総合駅連絡通路橋イベント広場等

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)-再掲-

- ・市町村、観光協会等の地元関係者と連携して、地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、特設サイト「旅ろっ！愛知」で情報発信と販売支援を実施(詳細P11)。

C. デジタル化・DXの推進

①デジタル上で稼働する観光コンテンツの造成

【愛知・岐阜広域デジタルスタンプラリー】(観光振興課)-再掲-

- ・武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、岐阜県との連携によるデジタルスタンプラリー「見にトリップ・戦トリップ」を開催(詳細P12)。

②デジタルベースな人流データや評価情報等に基づく観光コンテンツの造成・改善

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・市町村・地域観光協会に対し、観光動態データ及び評価情報等のデータを活用した観光コンテンツの造成・改善を支援。

《実績》

観光動態データ閲覧サービスの活用事例数:7事例

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村や地域観光協会、事業者を対象に、ジブリパークチケット購入者の属性等のデータや、ジブリパーク来園者の位置情報データ等を提供し、観光コンテンツの造成・改善を支援(詳細 P11)。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光コンテンツの造成能力の向上

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 観光まちづくりに関心のある県民等(観光関係者を含む)を対象にしたグループワークを実施するとともに、優れたツアーはモニターツアーとしての実施支援。

《実績》

観光まちづくりゼミ:全3回実施(開講式(参加者 38 名)

ワークショップ・中間発表(参加者 18 名)、企画発表会(参加者 33 名)

モニターツアーコース名:「体験型!「食材獲得リレー」MIHAMAサスティナビリティ」(美浜町)

開催日 2024 年 11 月 20 日、参加者数 15 名

モニターツアーコース名:津島の伝統芸能(琵琶演奏)と山車蔵見学(津島市)

開催日 2024 年 12 月 4 日、参加者数 31 名

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 県内外の街道観光関係者が一堂に会する講演会を開催し、有識者による講演や地域の取組事例発表、情報交換等を実施することにより、街道観光コンテンツの造成を促進。

《実績》

開催日:2024 年 11 月 25 日

場所:のぶながホール

参加者数:約 90 名

【あいち航空ミュージアムを含む共通券の販売】(航空空港課)

- ・ トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館及び岐阜かかみがはら航空宇宙博物館との共通券を販売。

②異業種・学術機関との連携による観光コンテンツの造成、及びその能力の向上

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 「食」に係る生産者や加工業者等を巻き込むことにより、新たな観光コンテンツの開発・改善を促進。

展開分野Ⅱ PR・プロモーション

A. 高付加価値化の推進

①ターゲットを意識した情報発信プラットフォームの構築・選択・運用

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツの内容等に応じ、「趣味嗜好マーケティング」に基づいた広告等の支援を実施。

《実績》

支援対象:3件

- ①株式会社田原観光情報サービスセンター:新聞広告(2025年1月9日「中日新聞」掲載)、Instagram 広告配信(2025年1月14日~2月2日配信、クリック数1,377)
- ②美浜武豊グッドローカル推進協議会:フライヤー制作、プロモーション動画制作、SNS 広告配信(2024年11月30日~12月6日配信、リーチ数17,963)
- ③Rise's House(リセズハウス):インフルエンサーによるタイアップ動画投稿(2025年1月29日配信、3月31日時点の再生回数11万回)

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・首都圏・関西圏において、「ジブリパークのある愛知」をイメージした観光動画をデジタルサイネージにて放映。

《実績》

放映場所:映画館、駅、SAなど25か所

放映期間:各場所2~8週間



ロゴマーク

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

- ・愛知県フィルムコミッション協議会事業として、映像制作者等を対象に県内ロケ地等を紹介するWebサイトを運営し、ロケーションの誘致を実施。

《実績》

特集ページの作成:1件(「ディア・ファミリー」)、サイトアクセス数:98,109

【TOPICS ③】愛知県フィルムコミッション協議会

本県では、「愛知県フィルムコミッション協議会(以下、「県FC協議会」)」を設立し、当協議会に参画するフィルムコミッション及び市町村を中心に連携促進を図り、広域で映画やドラマなどの撮影誘致による観光客の誘客に取り組んでいます。

県FC協議会では、県内で撮影された作品のロケ地をまとめたロケ地マップを作成し、映画館等の施設での配架によるPRを行うなどして、ロケ誘致後の観光客誘致を図っています。

2024年度は、愛知県が舞台となり、県内で多数のロケが行われた映画「ディアファミリー」のロケ地マップを作成し、県内外の映画館などに配架しました。



TOHO シネマズ津島



タワーレコード池袋

【首都圏・関西圏プロモーション推進】(観光振興課)

- ・市町村・事業者等と連携して、観光物産展を開催し、首都圏・関西圏在住者に向けて、本県の物産・観光の魅力を発信。

《実績》

(首都圏)

開催日:2025 年 1 月 18 日、19 日、会場:クイーンズスクエア横浜、来場者数:約 33,000 人

(関西圏)

開催日:2024 年 11 月 30 日、12 月 1 日、会場:ディーズスクエア(大阪市)、

来場者数:約 68,000 人

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 歴史ファン層をターゲットとした Web・SNS 広告や県内周遊の出発地・到着地となる鉄道駅等での交通広告を実施。

《実績》

Yahoo!ディスプレイ広告 実施期間:7 月 2 日～31 日、9 月 1 日～30 日

JR東海車内広告(東海道本線、中央本線、関西本線、武豊線)

雑誌「名鉄 Wind」

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課)

- ・ 観光レップ事業者(設置国:米国、東南アジア(ベトナム・インドネシア))による旅行会社、メディアへの情報発信。

《実績》

アメリカ

セールスコール実施:42 社、ニュースリリース配信:4 回、旅行博・商談会への出展参加:3 回
東南アジア(ベトナム、インドネシア)

セールスコール実施:24 社、ニュースリリース配信:2 回、商談会への参加:2 回

【韓国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ ソウルで開催された旅行博覧会(Travel Show2024)に出展し、訪日旅行に関心のある FIT(個人旅行者)層に本県の観光資源を直接 PR。

《実績》

場所:ソウル(韓国)

開催期間:2024 年 10 月 4 日～6 日

アンケート回収数:565 名

SNS フォロワー増加件数:301 件

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 日本に拠点を持つムスリムメディア及び県内のムスリム留学生を県内観光地視察に招請し、SNS 等での情報発信を依頼。

《実績》

招請期間:2025 年 2 月 11 日～14 日

招請人数:メディア 1 社、留学生 3 名、インフルエンサー 1 名

メディアによる情報発信の媒体、発信日、言語、総ページビュー数:

Web 記事、2025 年 3 月 23 日、2 言語(英語・インドネシア語)、3,734 ページビュー

【医療ツーリズム推進】(医務課)

- ・ 医療ツーリズム推進に向けた具体的な取組について協議するため、あいち医療ツーリズム推進協議会を実施。また、県内の医療機関の取組状況等を紹介した Web サイト「愛知の医療ツーリズムナビ」において情報発信。

②運輸機関・旅行会社・OTA など送客主体と連携した PR・プロモーション

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 高速道路・航空・鉄道・バス事業者、旅行会社等と連携し、本県の観光コンテンツを組み込んだ商品の PR・プロモーションを実施。

《実績》

NEXCO 中日本始め 10 事業者以上との連携

【外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 海外個人旅行者向けに造成した体験型コンテンツを海外 OTA に掲載することにより、販売を支援。また、記事掲載による PR 及び、口コミによる波及効果を目的とし、在日外国人を対象としたモニターツアーを実施。

《実績》

掲載したコンテンツ:9 コンテンツ
記事掲載:アジア向け1回、欧米豪向け1回
モニターツアー:計 15 回実施

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2026 年に愛知・名古屋で開催されるアジア・アジアパラ競技大会期間中等の送客が期待できる東アジア・東南アジアの旅行会社やメディア関係者を招請し、旅行商品造成や情報発信を促進。

《実績》

対象市場:韓国・中国・香港・タイ・ベトナム
招請回数:5 回(5 か国・地域×1 回)
招請時期:中国・香港 2024 年 11 月 25 日～28 日、
韓国・タイ・ベトナム 2024 年 11 月 27 日～30 日
招請人数:20 名(5 か国・地域×4 名(旅行会社 1 名、メディア関係者 1 名))
商品造成数:9 本
情報発信回数:20 回

【リニモ沿線地域活力創出】(交通対策課)

- ・ リニモ沿線施設・店舗に立ち寄るきっかけづくりやリニモに乗って周遊する動機付けとなる企画等を実施。
- ・ 旅行計画の段階(旅マエ)のリニモ沿線に訪れる可能性のある人、主に県外からのジブリパーク訪問者をターゲットとした、観光情報 Web サイトを作成。
- ・ メルマガや Web 媒体、Instagram や LINE、X 等の SNS を活用した広告・情報発信を実施。
- ・ 来訪した人に対し、沿線地域への来訪を促し、リピーター獲得を目的とした情報発信を実施。

③商談会等の PR・プロモーション機会の提供

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 全国の旅行会社に対し、本県を目的地とする旅行商品の造成を働きかけるため、県内の市町村、観光協会、観光関連事業者等に対し、旅行会社とのオンライン商談会の場を提供。

《実績》

開催日:2024 年 11 月 12 日～13 日、参加旅行会社:40 社、愛知県側参加団体:49 団体

【あいちの自然観光フェア開催】(観光振興課)

- ・ アウトドアファンを対象にしたイベント「DESTINATION AICHI」を開催することにより、県内の市町村・観光協会・事業者等に PR・プロモーションの機会を提供。

《実績》

開催日:2024 年 11 月 16 日～17 日、会場:Aichi Sky Expo
来場者数:50,000 人(2 日間)
出展事業者数:(一般)46 者、(キッチンカー)2 者

【韓国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ ソウルで開催された旅行博覧会 (Travel Show2024) に県内観光関係事業者とともに出展。また、出展に併せて、県内観光関係事業者とともにソウル市内の旅行会社へのセールスコールを実施。

《実績》

渡航期間:2024 年 10 月 3 日～7 日

渡航者:県職員 1 名

セールスコール実施:3 社

【タイ FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ バンコクで開催された Visit Japan FIT Fair (FIT フェア) に県内観光関係事業者とともに出展。また、出展に併せて、県内観光関係事業者とともにバンコク都内の旅行会社へのセールスコールを実施。

《実績》

渡航期間:2024 年 10 月 7 日～12 日

渡航者:県職員 2 名

セールスコール実施:4 社

【日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 主として、2023 年に本県で開催した日台観光サミットの関係者を対象に、台北市で現地旅行会社との商談会・交流会の場を提供。

《実績》

場所:台北市(台湾)

開催日:2024 年 6 月 3 日

参加者:日本側 19 社、台湾側 59 社

アンケート回収数:日本側 14 名、台湾側 32 名

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 2026 年のアジア・アジアパラ競技大会期間中等の送客が期待できる東アジア・東南アジアの旅行会社やメディア関係者を招請し、県内観光事業者との商談会・交流会を実施。

《実績》

開催日:中国・香港 2024 年 11 月 28 日

韓国・タイ・ベトナム 2024 年 11 月 29 日

参加者(県内事業者):2024 年 11 月 28 日 16 者、2024 年 11 月 29 日 17 者

④大規模イベント・プロジェクトにあわせた PR・プロモーション

【ツーリズム EXPO ジャパン誘致推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2025 年 9 月に Aichi Sky Expo で開催される世界最大級の旅行博「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」において、開催地として例年より大規模な出展計画を構築。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 県内外のお城観光等に資する歴史イベントにブース出展。

《実績》

2024 年 8 月 10 日～12 日「第参回大阪・お城フェス 2024」

2024 年 9 月 28 日～29 日「ツーリズム EXPO ジャパン 2024」

2024 年 10 月 19 日～20 日「大関ヶ原祭 2024」

【愛知万博 20 周年記念事業「愛・地球博 20 祭」の開催準備】

(愛知万博 20 周年記念事業推進室)

- ・ 愛知万博 20 周年を迎える 2025 年に、愛・地球博記念公園において、記念事業を実施するため、イベント等の開催準備、調整及び広報 PR 活動を実施。

《実績》

「彩の回廊」プロジェクトチーム会議開催(5回)
「地球を愛する学園祭」全体ミーティング開催(2回)
開幕半年前 PR ワークショップの実施(3回)
リニモ・セントレア連携事業の実施
県内市町村 PR キャラバン・パネル展等、県内各所において広報活動の実施
(PR キャラバン:36 市町村、パネル展:22 市町村)
2025 年 3 月 25 日から、愛・地球博 20 祭開幕

【世界コスプレサミット実行委員会負担金】(観光振興課)

- ・「世界コスプレサミット」の開催を支援するため、名古屋市と協調して費用の一部を負担。

《実績》

イベント動員数 253,700 人(3 日間合計)

【にっぽんど真ん中祭り開催支援負担金】(観光振興課)

- ・「にっぽんど真ん中祭り」の開催を支援するため、名古屋市と協調して費用の一部を負担。

《実績》

2024 年 8 月 23 日～25 日(リアル開催)
2024 年 11 月 21 日～24 日(リアル×オンライン開催)

⑤航空路線・外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2023 年に造成した寄港地観光行程のニーズが合致する船社等に対し、名古屋港への寄港誘致のセールスを実施。

《実績》

セールスコール実施:11 社

- ・ 2022 年度に取りまとめたセールス資料により、船社やチャーターに対し、三河港への寄港誘致のセールスを実施。

《実績》

セールスコール実施:9 社

【クルーズ船の誘致】(港湾課)

- ・ 常滑港におけるクルーズ船誘致に向けた取組を推進。

《実績》

第 58 回常滑焼まつり出展(2024 年 10 月 5 日～6 日)
船社及びチャーター訪問:7 社

【航空需要の拡大に向けた取組】(航空空港課)

- ・ 海外の航空会社に対するエアポートセールスの実施。
- ・ LCC を含む重点路線のアウトバウンドの促進。
- ・ 中部国際空港を拠点とし、新たなイベントの開催や特別な体験を提供する「訪日外国人向けツアーの造成」等を実施。

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【文化財保存事業費補助金】(文化財室)

- ・ 国・県指定・県登録文化財の適切な維持管理のため、必要な保存修理費等の一部を所有者に補助。

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

【三河山間地域の魅力発信】(地域振興室)

- ・ 情報誌・SNS 等を活用した三河山間地域の魅力発信及び関係人口の拡大に向けた取組の推進。

【離島の振興】(地域振興室)

- ・ SNS 等を活用した離島の魅力発信及び関係人口と連携した地域課題解決の取組の推進。

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【中部国際空港観光案内】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 5 県 1 市が共同で、中部国際空港の観光案内所を運営。

【国際観光振興機構(JNTO)負担金】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外プロモーション事業を実施する JNTO からノウハウ等を享受。

【クレア海外事務所を通じた情報発信の支援】(国際課)

- ・ 海外各都市における各種イベントにおいて、クレア海外事務所を通じて本県の観光パンフレット等を配布し、本県の PR を実施。

《実績》

配布海外事務所:7 件

C. デジタル化・DX の推進

①スマートフォン上での PR・プロモーション

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信。

《実績》

Aichi Now ページビュー数(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

(言語、ページビュー数)

日本語 14,214,002、英語 655,444、中国語(繁体字)672,604、中国語(簡体字)75,646、

韓国語 83,684、タイ語 107,905

合計 15,809,285

各 SNS フォロワー数(2025 年 3 月 31 日時点)

(種類、配信言語、フォロワー数)

Facebook 日本語 14,762、繁体字 54,982、英語 217,142

X(旧 Twitter) 日本語 9,935、繁体字 255、英語 548

Weibo 簡体字 10,942

WeChat 簡体字 1,919

LINE 日本語 14,336

Instagram 日本語 27,856、英語 2,814

②デジタルを活用して最適化した PR・プロモーション

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)-再掲-

- ・ ジブリパークチケット購入者の属性データ等を把握し、それに近い人々に対し、スタジオジブリ作品に登場した声優を活用したデジタル広告を配信。

《実績》

配信媒体:TikTok、Radiko

③デジタルを活用したリアルタイムの PR・プロモーション

【中部国際空港観光案内】(国際観光コンベンション課)-再掲-

- ・ 大型ビジョンでの観光情報等の放映。

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信事業】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、時期や状況に応じてスポットの情報更新、コラム、特集を作成し、発信。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による PR・プロモーション能力の向上

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援。

《実績》

2024 年 6 月 27 日ガイダンス、11 月 19 日中間報告会、2025 年 2 月 26 日最終報告会

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知県フィルムコミッション協議会事業として、県内フィルムコミッション(FC)相互の情報共有を図るとともに、ロケの誘致や支援に係る能力向上を促進するため、意見交換会を開催。

【日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 高雄市で開催された日台観光サミットに出席し、2023 年に本県でのサミット開催で構築した台湾観光関係者とのコネクションを更に強化し、今後の観光施策に活用。

《実績》

場所:高雄市(台湾)、開催期間:2024 年 5 月 30 日～6 月 2 日

出席者:県職員 2 名

②異業種・学術機関との連携による PR・プロモーション能力の向上

【包括協定を締結した各社店舗等での情報発信】(商業流通課)

- ・ 包括協定を締結しているコンビニエンスストアやスーパーの店舗で、パンフレットやポスターを通じて観光情報を発信。

展開分野Ⅲ 受入環境の整備

A. 高付加価値化の推進

①多様な宿泊ニーズへの対応

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「食」を含んだ高付加価値な宿泊コンテンツの造成・販売を支援することにより、多様な宿泊ニーズに対応。

《実績》

対象: Rise's House (リセズハウス)、内容: 日本家屋滞在と西尾の食を堪能するプラン

②「新たな旅のスタイル」への対応

【ワーケーション促進】(観光振興課)

- ・観光関連事業者に対し、ワーケーション促進に向けた視察イベントを開催。

《実績》

3回(銀波荘・平野屋)

ワーケーション施設視察イベントの参加者数: 5自治体、20者

【ブレッジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課)

- ・「あいち・なごや周遊観光パスポート」(愛知県観光協会発行)の広告・PR面での支援を通じて、出張客の「ついで観光」需要の創出と取り込みを促進。

《実績》

参画施設数: 県内 26 施設、販売数: 2,839 枚、利用者数: 26,401 人

B. 持続可能性の追求

①旅行者の属性、障がいの有無、言語、宗教・信条等に関わらず旅行を楽しめる環境づくり

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課)

- ・なごやめし普及促進協議会のPR協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(ツール作成、セミナー開催等)を実施。

《実績》

- ・「なごやめし」フードダイバーシティ対応マニュアル 2,000 部をPR協力事業者へ配布

- ・セミナー開催

開催日: 2025 年 1 月 30 日、会場: 中日ホール&カンファレンス Room2、参加者数: 42 名

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ネイティブライター等専門人材を観光施設に派遣して多言語表記を検証し、ネイティブ目線を盛り込んだ解説文等を作成することにより、観光施設における多言語表記の整備を支援。

《実績》

実施対象: 5 施設 8 資料 40 項目×4 言語(英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語)

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ムスリムメディア及びムスリム留学生を招請し、宗教、信条等の特別な配慮が必要とされるムスリム旅行者に対して、本県の受入環境に係る情報を発信(詳細 P16)。

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・利用登録した観光関係事業者(宿泊施設、小売店、飲食店、観光案内所等)に対して、コールセンターを活用した多言語通訳・翻訳サービスを実施。

《実績》

利用状況

電話・テレビ電話サービス:35 件(登録事業者:23 件、外国人旅行者及び在住者:12 件)

翻訳サービス:313 件

【新規事業】愛知県宿泊施設バリアフリー整備推進(アジア・アジアパラ競技大会推進局計画推進課)

- ・ 第 20 回アジア競技大会及び第 5 回アジアパラ競技大会を見据え、県内の宿泊施設において障害のある方や高齢の方等、誰もが安全で快適に利用できる宿泊施設の環境整備を支援。

《実績》

交付件数:16 件

②地域資源の保全・活用

【新規事業】愛知「発酵食文化」振興協議会(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 発酵をテーマにした体験コンテンツの造成により、愛知県の「発酵食文化」の保全・活用を促進。

【本庁舎公開イベント】(財産管理課)

- ・ 本庁舎公開イベントの実施。

【伝統芸能の保存、継承】(文化芸術課)

- ・ 「あいち推し芸体験会」開催及び「推しを見つける！あいち伝統芸能ナビ」作成。

③交通インフラの整備・交通アクセスの充実

【総合的なネットワークの充実】(リニア事業推進室)

- ・ 東海道新幹線を活用した交流の拡大策の検討。

【中部国際空港の第二滑走路の整備を始めとする機能強化に向けた取組の推進】(航空空港課)

- ・ 中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国への働きかけ等。

【広域幹線道路の整備促進】(道路建設課)

- ・ 観光地間の有機的なネットワーク化を図るため、三遠南信自動車道等において整備の推進を国へ要望。

【名古屋駅から圏域内主要都市への「40 分交通圏」の拡大】

(リニア事業推進室・都市整備課)

- ・ 鉄道ネットワークの充実強化に関する方策等の具体化検討。
- ・ 知立駅付近連続立体交差事業の推進。
- ・ 名鉄三河線の複線化。

④安全・安心な旅行環境の整備

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ 観光施設の受入体制の整備を促進するため、市町村による施設の設置・改修に対する補助事業を実施。

《実績》

観光施設の設置及び改修 補助件数:10 件、補助額:39,873 千円

【愛知県災害多言語支援センター設置】(多文化共生推進室)

- ・ 愛知県災害多言語支援センターの設置訓練や、市町村職員及び市町村国際交流協会職員等を対象に、災害時の外国人支援に関する知識を習得するための講座を開催。

【愛知県救急医療情報システムによる外国人への医療情報提供の実施】(医務課)

- ・ 外国語対応可能な医療機関に関する情報を、音声及び FAX では 5 ヶ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語)、インターネットでは 4 ヶ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)による外国語表示機能により提供。

⑤オーバーツーリズム(観光公害)への対応

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課) -再掲-

- ・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施。

《実績》

キャンペーン参画施設数:108 件(2024 年度末時点)

宿泊予約サイトを通じて「キャンペーンプラン」を利用した人数:約 54,000 人(2024 年 4 月～2025 年 3 月)

C. デジタル化・DX の推進

①デジタルを活用したバリアフリー対応、多言語対応

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」にて、バリアフリー情報を発信。
- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信(詳細 P20)。

②デジタルを活用した移動や消費の円滑化

【ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知県観光協会と協力して、二次元コードを活用した「あいち・なごや周遊観光パスポート」を造成し、1 台のスマートフォン(または 1 枚の紙チケット)で美術館・博物館等に入館できる環境を整備。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による受入環境の整備促進

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課) -再掲-

- ・ なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティへの対応を支援するセミナーを開催(詳細 P22)。

②異業種・学術機関との連携による受入環境の整備促進

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 県内外の街道観光関係者が一堂に会する講演会を開催し、有識者による講演や地域の取組事例発表、情報交換等を実施。



展開分野Ⅳ 観光地経営体制の強化

A. 高付加価値化の推進

①観光コンテンツ造成や PR・プロモーションの能力強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会に対し、観光動態データ及び評価情報等のデータを活用して、観光コンテンツ造成や PR・プロモーション能力の強化を支援。

《実績》

観光動態データ閲覧サービスの活用事例数:7 事例

②観光施設等における受入力強化の支援

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課) -再掲-

- ・ なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(ツール作成、セミナー開催等)を実施。(詳細 P.22)

③「ツウ」な人でも満足できる観光ガイドの育成及びガイド団体との連携強化

【あいちの魅力発見ガイドツアー実施】(観光振興課)

- ・ 「あいちウィーク」(11 月 21 日～27 日)期間中に、県内で活躍するガイド及びガイド団体と連携し、県内各地・施設でガイドツアーやガイドプログラムを実施。

《実績》

ツアー数:32 ツアー

参加人数:3,854 名

【産業あないびと育成】(観光振興課)

- ・ 地域で活躍する観光ボランティアガイド等を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

《実績》

産業観光あないびと育成研修会:2024 年 12 月 19 日、参加者:22 団体・50 名

テーマ:「団体運営の持続並びに活動における先進事例「長崎さるく」について」

講師:古賀 典明(長崎国際観光コンベンション協会 事業部長)

④県民による県内観光の促進

【あいちの魅力発見ガイドツアー実施】(観光振興課) -再掲-

- ・ 「あいちウィーク」期間中に、主として県民を対象にした、県内各地・施設でのガイドツアーやガイドプログラムを実施。

【全国通訳案内士指導】(国際観光コンベンション課)

- ・ 外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をする全国通訳案内士の申請登録等を実施。

【県人会を通じた県政 PR の推進】(県民総務課)

- ・ 各県人会総会等の機会を利用して、観光情報・県政情報の PR や県政への協力を依頼。
- ・ 各県人会が推薦する者に「愛知ふるさと大使」を委嘱し、出身県及び現在住んでいる県等において、積極的な観光情報の発信や愛知県政 PR 活動を依頼。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な観光地経営体制の確立

【市町村・地域観光協会等の観光地経営体制の強化】(観光振興課)

- ・ 市町村・地域観光協会等が策定する観光振興計画等への助言等。
- ・ 市町村個別ミーティング等を通じた、市町村・地域観光協会が抱える観光振興に係る課題等への助言。

《実績》

市町村観光担当課長及び地域観光協会専務理事等会議参加団体数:60

上期市町村個別ミーティング参加団体数:40

下期市町村個別ミーティング参加団体数:42

②観光関連産業の労働生産性の向上と人材確保

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課)

- ・ 観光関連産業の中核である宿泊業を対象に、この地域に蓄積された「モノづくり」産業の「カイゼン」ノウハウを活用し、業務改善を支援。

《実績》

説明会参加者数:8 団体

支援エリア数:3 エリア

改善策提案件数:4 件

③観光需要の平準化

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課) -再掲-

- ・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施(詳細 P24)。

【ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

- ・ 平日専用の「あいち・なごや周遊観光パスポート」(愛知県観光協会発行)を広告・PR面で支援。

【あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進】(県民総務課)

- ・ 「あいちウィーク」におけるイベントの企画・運営。
- ・ PR 事業の企画・実施。
- ・ あいちウィークにおける公の施設の使用料等の減免。

【休暇を取得しやすい職場環境づくり】(労働福祉課)

- ・ 「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」の推進。

《実績》

認定件数:570(2024 年度末時点)

【家族と子どもが一緒に過ごせる仕組みづくり】(教育委員会)

- ・ ラーケーションを導入する学校におけるモデル事業の実施や校務支援員の配置(小・中・義務教育学校 761 校、市立高等学校 1 校、市立特別支援学校 4 校、県立高等学校 149 校、県立特別支援学校 32 校)。

【全国知事会を通じた「休み方改革」の推進】(地方創生課)

- ・ 「休み方改革」を国民運動として展開するため、全国知事会のプロジェクトチームの活動を推進。

【TOPICS ④】「ジャパン・ツーリズム・アワード」国土交通大臣賞受賞

本県では、2023 年度より、ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による日本経済の活性化を目指し、「愛知県『休み方改革』プロジェクト」を実施しています。

この取組が評価され、日本政府観光局と公益社団法人日本観光振興協会、そして一般社団法人日本旅行業協会が主催する「ジャパン・ツーリズム・アワード」^(※)において国土交通大臣賞を受賞し、2024 年 9 月 26 日に、東京ビッグサイトで開催されたツーリズム EXPO ジャパンの会場で表彰されました。

観光業界の永年の課題であった、観光需要の平準化に資する休暇の改革を愛知県庁が主導した点、他の都道府県の同様の取組の先駆者となっている点、経済界・労働界・教育界が一体となって改革に取り組んでいる点が評価されました。



表彰式の様子

※「ジャパン・ツーリズム・アワード」は、ツーリズムの拡大・活性化に貢献した組織・企業・団体・個人の取組を表彰するもので、国土交通大臣賞は、経済産業大臣賞とともに、最高賞。

④地域の観光関連産業をリードする人材の育成・確保

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 広く県民等を対象に、持続可能な観光の理念に基づくツアー造成を目的としたグループワークを実施するとともに、優れた企画を選定・表彰することにより、観光人材の育成を推進。

【高等学校普通科教育課程の弾力化】(高等学校教育課・あいちの学び推進課)

- ・ 県立福江高校の観光ビジネスコースで、観光や地域振興に関する教育を推進。
- ・ 県立足助高校への観光科の新設に係る施設設備の整備。

C. デジタル化・DX の推進

①地域における観光デジタル人材の育成・活用

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援(詳細 P.21)。

②人流・消費データ等のデジタルデータを活用したマーケティング環境の整備

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員に対し、観光動態データを閲覧できる環境整備を実施。

《実績》

観光動態データ閲覧サービス参画団体数:35 団体

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村や地域観光協会、事業者を対象に、ジブリパークチケット購入者の属性等のデ

ータや、ジブリパーク来園者の位置情報データ等を提供。

③観光 DX の推進による観光関連産業の労働生産性の向上

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課) -再掲-

- ・ 観光関連産業の中核である宿泊業を対象に、観光 DX を活用した業務改善に向けた助言を実施。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光地経営体制の強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等の開催(詳細 P.21)。

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知県フィルムコミッション協議会事業として、県内フィルムコミッション(FC)相互の情報共有を図るとともに、ロケの誘致や支援に係る能力向上を促進するため、意見交換会を開催。

②異業種・学術機関との連携による観光地経営体制の強化

【ワーケーション促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 企業が観光地等に一定期間滞在し、その地域の自治体や企業などの関係者とともに、地域課題の解決を目指すリバースピッチイベントを開催。

《実績》

ワーケーションモデル事業の参加者数:5 社 17 名
リバースピッチイベント参加者数:8 社(9 名)

展開分野Ⅴ MICE の誘致・開催に向けた取組強化

A. 高付加価値化の推進

①テクニカルビジット・ユニークベニュー等の開発・活用促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・テクニカルビジットの受入れが可能な企業を拡充。

《実績》

新規受入先:10 件

- ・ユニークベニューを新規開発するとともに、「愛知・名古屋ユニークベニューガイド」を更新・発信。

《実績》

掲載施設数:24 件、言語:日本語、英語(併記)

②高級ホテルなどの充実

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- ・さらなる高級ホテルの立地促進に向け、名古屋市と連携し、愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金制度の補助事業認定申請の受付を再開する方針を決定。
- ・開業済みの事業認定ホテルに対し、補助金を交付。

《実績》

交付件数:1 件(TIAD, AUTOGRAPH COLLECTION、交付額1億円)

③開催支援メニューの充実

【催事開催支援(展示会産業振興基金 官民連携組織運営)】(国際展示場室)

- ・Aichi Sky Expo への国際的な催事や全国的な産業見本市等の誘致を通じ、展示会産業の活性化を図ることを目的として、主催者が催事の開催に要する経費の一部を補助。

《実績》

Aichi Sky Expo 利用促進補助金:9 件

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・大規模 MICE 参加者に対するおもてなしを図るため、アトラクションの派遣やギブアウェイの提供などを実施。

《実績》

アトラクション支援:8 件、ギブアウェイ提供支援:9 件

④大規模イベント・プロジェクト等を活用した PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・商談会、見本市において、本県での大規模 MICE の開催実績とともに宿泊等の優れた都市機能を PR(詳細 P31、32)。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な MICE に関連する国際認証の取得等に向けた取組の促進と主催者等への取組の PR

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・見本市、商談会やニュースレター等において、県内 MICE 施設のサステナビリティに向けた取組を発信。

《実績》

MICE 見本市、商談会

MICE 見本市:2 回、商談会:3 回

ニュースレター

配信回数:2 回、配信先:579 件(日本語、英語)、

発信内容:県内ホテル及び MICE 施設におけるサステナビリティに関する取組内容を紹介

【施設のサステナビリティ(持続可能性)に対する取組の情報発信】

(国際観光コンベンション課)

- ・ MICE 主催者等に対し、本県が持続可能性の観点から優れた開催地であることを PR するため、Aichi Now や米レップニュースレター等を活用し、MICE 施設や主要ホテルのサステナビリティに関する取組の情報を発信。

《実績》

発信件数:全 34 件

Aichi Now 発信回数:1 回(5 件)

言語:日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語

アクセス数:計 353 ページビュー(2025 年 3 月 31 日時点)

米レップニュースレター 発信回数:3 回(3 件)、言語:英語、発信先:1 回目 802 件、2 回目 786 件、3 回目 788 件

②日本政府観光局(JNTO)との連携による MICE 専門人材の育成・活用等

【JNTO 研修員派遣(国際会議等誘致推進)】(国際観光コンベンション課)

- ・ JNTO ロンドン事務所に職員を研修派遣し、MICE 誘致に係る手法の習得や市場動向の情報収集を行うことにより、MICE 誘致に資する優れた人材を育成。

③県民・市町村等に向けた MICE 開催効果の理解促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 国内外の MICE キーパーソンや旅行会社に対して発信する、愛知・名古屋の最新の MICE 情報等をまとめたニュースレターを、MICE の開催地域における機運醸成を図るため、構成団体等にも発信。

《実績》

ニュースレター

配信回数:2 回

配信先:協議会構成団体の 9 団体(県、名古屋市、名古屋観光コンベンションビューローを除く)

C. デジタル化・DX の推進

①デジタルを活用した PR・プロモーション

【催事開催支援(展示会産業振興基金(官民連携組織運営))】

(国際展示場室) -再掲-

- ・ Aichi Sky Expo 周辺のホテルや交通機関、観光施設など MICE の受入情報を掲載した Web サイトを運営。

【地域プロモーション(展示会産業振興基金(官民連携組織運営))】(国際展示場室)

- ・ 国内外の MICE 主催者に向けてデジタル広告を配信。

D. オープンイノベーションの促進

①経済界・学術機関との連携による国際会議と展示会・見本市の誘致

【アジア開発銀行年次総会誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 名古屋市及び経済界と連携し、2027 年の第 60 回アジア開発銀行年次総会の愛知・名古屋での開催に向け、誘致推進協議会を設立し、誘致活動を実施。

《実績》

名称:第 60 回アジア開発銀行年次総会 愛知・名古屋誘致推進協議会
設立:2024 年 12 月 6 日
構成:愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、(一社)中部経済連合会、
(一社)名古屋銀行協会

【AXIA EXPO 開催】(国際展示場室)

- ・ (株)日刊工業新聞社と連携し、スマートシティ及びその基盤となるような次世代技術をテーマとした産業展示会「AXIA EXPO 2024」を新規に立ち上げ、開催実績を積むことで、展示会会場としての Aichi Sky Expo のポテンシャルを周知するとともに、他の産業展示会の誘致を促進。

《実績》

開催日:2024 年 6 月 5 日～7 日、出展:115 社・団体、来場者:11,759 名

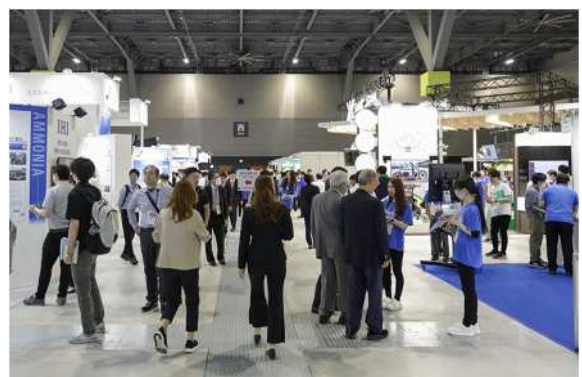
【TOPICS ⑤】AXIA EXPO2024 の開催

本県では、愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)を活用した本地域における展示会産業の振興に取り組んでいます。2024 年度は、6 月 5 日から 6 月 7 日までの 3 日間、Aichi Sky Expo において新たな産業展示会「AXIA EXPO 2024」を開催しました。

「愛知発 スマート未来都市の実現へ」というテーマの下、「水素・アンモニア」、「次世代通信」、「GX(グリーン・トランスフォーメーション)」の分野を中心とした先端的な取組を実施している企業が一堂に会し、スマートシティの基盤となる各種技術や製品が展示されました。



開会式



会場の様子

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ (一社)日本コンgres・コンベンションビューローが JNTO と共催する、国内最大規模の MICE 見本市「国際 MICE エキスポ(IME2025)」に参加。

《実績》

開催日:2025 年 2 月 13 日、会場:東京国際フォーラム ホール B5/B7、商談件数:16 件

- ・ 学会、業界団体、インセンティブ関係業界等と愛知・名古屋の MICE ステークホルダーによる商談会を中心とした「愛知・名古屋 MICE 説明会」を東京で開催。

《実績》

開催日:2024 年 12 月 20 日

会場:アルカディア市ヶ谷 富士の間

参加者:MICE 主催者等 48 団体 77 名、地元ステークホルダー 23 団体 36 名

- ・ JNTO が主催する、海外の訪日旅行取扱旅行会社等と日本全国の観光関係事業者が一堂に会する商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2024」に出展。

《実績》

開催期間:2024年9月26日～28日
会場:東京ビッグサイト 東7ホール
商談件数30件、JNTO 海外事務所相談会1件

【ツーリズム EXPO ジャパン誘致推進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」の成功に向けて、2024年7月に地元の自治体、経済団体、観光団体、交通機関などとともに、主催者の支援・協力を目的とした開催地連絡協議会を設立。

《実績》

名称:「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」開催地連絡協議会
設立:2024年7月19日
構成:25団体29名

- ・アクセス対策等、具体的な受入体制計画等を策定。

②経済界との連携による会議と報奨・研修旅行の誘致

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・海外企業からのニーズが高い複数都市を巡るインセンティブツアーに対応するため、東京都・(公財)東京観光財団と連携し、海外のミーティングプランナー等を対象に、ファムトリップを実施。

《実績》

招請期間:2025年1月21日～24日
訪問先:名古屋市(名古屋城、有松・鳴海絞り体験、徳川美術館等)、
犬山市(犬山城下町、ホテルインディゴ犬山有楽苑等)
被招請者:欧州・北米圏のミーティングプランナー等5名

- ・(一社)中央日本総合観光機構が実施する「企業 MICE マッチング事業」に参画し、企業 MICE の情報収集を行うとともに、情報交換会に参加した。

《実績》

情報交換会:1回

- ・JNTO が主催する台湾インセンティブ旅行商談会に参加。

《実績》

開催日:2024年9月4日
会場:ザ ハワード プラザ ホテル 台北
商談件数:5件

- ・世界の MICE 関係者が一同に会する、東南アジア最大規模の MICE 見本市「IT&CM Asia」に出展。

《実績》

開催期間:2024年9月24日～26日
会場:センタラグランド&バンコクコンベンションセンター(タイ・バンコク)
商談件数:32件

【国内キーパーソン対象誘致活動】(国際観光コンベンション課)

- ・国際会議のキーパーソンが所属する、国内の学会本部・本社等を訪問し、会議の開催情報などについてヒアリングを行うとともに、本県での開催に向けた働きかけを行い、キーパーソンとのネットワークを構築。

《実績》

ヒアリング実施先:1者

3 2025 年度の主要な観光振興施策

展開分野Ⅰ 地域資源の観光コンテンツ化

A. 高付加価値化の推進

①資源の持ち手に対する観光コンテンツ化の理解促進

【あいち「ツウ」リズム推進事業】(観光振興課)

- ・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツを造成するため、資源の持ち手・担い手(生産者や食品加工業者等)に対し、本事業に参画することで得られるメリットを紹介する説明会を実施。

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・協議会構成員及び関係者へ向けて、有識者等によるインバウンドマーケティング等の講演を行うセミナーを開催。

②「ツウ」な人でも満足できる観光コンテンツの造成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)－再掲－

- ・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツを造成するため、資源の持ち手・担い手(生産者や食品加工業者等)に対し、コンテンツの造成方法や販売方法を専門家により解説し、地域資源の磨き上げを支援。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・市町村や地域観光協会、事業者を対象に、スタジオジブリ作品のファンが満足できる観光コンテンツの造成を支援。

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・市町村、観光協会等の地元関係者と連携して、地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、特設サイト「旅ろっ！愛知」で情報発信と販売支援を実施。

【武将観光情報発信】(観光振興課)

- ・武将観光資源に恵まれた本県の特性を生かし、全国の武将隊や忍者隊等が集結する「サムライ・ニンジャフェスティバル」を開催。

【歴史観光推進】(観光振興課)

- ・三英傑をはじめ多くの武将たちの活躍の舞台となった歴史の現場において、著名な有識者によるガイドウォークを行う体験型イベントを開催。

【外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】(国際観光コンベンション課)

- ・インバウンドの受入に意欲がある県内施設等を対象に、海外富裕層が満足できるような「本物の体験」等ができる体験型コンテンツの造成を支援。
- ・インバウンドの受入に意欲がある県内施設等を対象に、海外個人旅行者が満足できるような体験型コンテンツの造成を支援。

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課)－再掲－

- ・インバウンド誘致促進のため旅行事業者を招聘したツアーを企画・実施。

③テーマ性の高い周遊観光コンテンツの造成

【愛知・岐阜広域デジタルスタンプラリー】(観光振興課)

- ・産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、岐阜県との連携によるデジタルスタンプラリー「あいちとぎふ 見にトリップ」を開催。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・歴史ファン層をターゲットにしたデジタルスタンプラリーを開催。
- ・大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送にあわせ、滋賀県、奈良県と連携し、県域をまたいだ広域周遊企画を実施。

④魅力ある観光土産品の開発

【愛知県観光土産品推奨並びに認定審査会】(観光振興課)

- ・愛知県観光土産品協会・愛知県観光土産品公正取引協議会主催の愛知県観光土産品推奨並びに認定審査会での知事賞の交付。

【愛知のふるさと食品コンテスト】(食育消費流通課)

- ・愛知県産農林水産物を活用した加工食品を新たに掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的に、愛知のふるさと食品コンテストを開催。

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「庭園」をテーマにしたフォトコンテスト開催にあたり、庭園の磨き上げを行い「映えスポット」を構築。

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

- ・「SDGsな旅」をテーマに、広く県内外から観光振興に資する企画を募集し、優れた企画を選定・表彰。

【花の王国あいちのPR】(園芸農産課)

- ・花と緑のイベント「あいち花マルシェ」の開催。

【食に関する観光の推進】(農業振興課・食育消費流通課)

- ・「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広くPRすることにより、都市と農村の交流人口の増加を促進。
- ・「あいちの農林水産フェア」の開催。

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・市町村、観光協会等の地元関係者と連携して、地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、特設サイト「旅ろっ！愛知」で情報発信と販売支援を実施。

C. デジタル化・DX の推進

①デジタル上で稼働する観光コンテンツの造成

【武将観光情報発信】(観光振興課) -再掲-

- ・「サムライ・ニンジャフェスティバル」において、これまで武将観光に関心がなかった層に訴求するため「AICHI X TECH 事業」により、スマートフォンで遊ぶ体験型コンテンツを創出。

②デジタルベースな人流データや評価情報等に基づく観光コンテンツの造成・改善

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・市町村・地域観光協会に対し、観光動態データ及び評価情報等のデータを活用した観光コンテンツの造成・改善を支援。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・市町村や地域観光協会、事業者を対象に、ジブリパークチケット購入者の属性等のデータや、ジブリパーク来園者の位置情報データ等を提供し、観光コンテンツの造成・改善を支援。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「庭園」をテーマにしたフォトコンテストを開催。
- ・フォトコンテスト参加者の属性や評価情報(口コミ等)を取得・分析することにより、次年度以降の施策改善に活用。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光コンテンツの造成能力の向上

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・観光まちづくりに関心のある県民等(観光関係者を含む。)を対象にしたグループワークを実施するとともに、優れたツアーはモニターツアーとしての実施を支援。

【武将観光情報発信】(観光振興課) -再掲-

- ・「サムライ・ニンジャフェスティバル」において、これまで武将観光に関心がなかった層に訴求する体験型コンテンツを創出するため、「AICHI X TECH 事業」により、デジタル技術を活用した解決策を提案するスタートアップ等と連携を実施。

【あいち航空ミュージアムを含む共通券の販売】(航空空港課)

- ・トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館及び岐阜かかみがはら航空宇宙博物館との共通券を販売。

②異業種・学術機関との連携による観光コンテンツの造成、及びその能力の向上

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「食」に係る生産者や加工業者等を巻き込むことにより、新たな観光コンテンツの開発・改善を促進。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「庭園」をテーマにしたフォトコンテストの開催において、学術機関と連携し、PR・プロモーションを設計・改善。

展開分野Ⅱ PR・プロモーション

A. 高付加価値化の推進

①ターゲットを意識した情報発信プラットフォームの構築・選択・運用

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツの内容等に応じ、「趣味嗜好マーケティング」に基づいた広告等の支援を実施。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・首都圏・関西圏において、「ジブリパークのある愛知」をイメージした観光動画をデジタルサイネージにて放映。

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

- ・愛知県フィルムコミッション協議会事業として、映像制作者等を対象に県内ロケ地等を紹介する Web サイトを運営し、ロケーションの誘致を実施。

【首都圏・関西圏プロモーション推進】(観光振興課)

- ・市町村・事業者等と連携して、観光物産展を開催し、首都圏・関西圏在住者に向けて、本県の物産・観光の魅力を発信。
- ・県内の観光コンテンツを首都圏・関西圏のメディアへ向けて情報発信。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・歴史ファン層をターゲットとした WEB・SNS 広告や県内周遊の出発地・到着地となる鉄道駅等での交通広告を実施。

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課)

- ・観光レップ事業者(設置国:米国、台湾)による旅行会社等への情報発信。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・アジア・アジアパラ競技大会開催期間前後の誘客を見据え、WBM(世界放送者会議)、WPB(世界報道会議)に参加する報道関係者や、観光関係施設等に配付する多言語観光パンフレットを制作。

②運輸機関・旅行会社・OTA など送客主体と連携した PR・プロモーション

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・高速道路・航空・鉄道・バス事業者、旅行会社等と連携し、本県の観光コンテンツを組み込んだ商品の PR・プロモーションを実施。

【外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・海外個人旅行者向けに造成した体験型コンテンツを海外 OTA に掲載することにより、販売を支援。また、記事掲載による PR 及び、口コミによる波及効果を目的とし、在日外国人を対象としたモニターツアーを実施。さらに、インフルエンサーを活用した PR を実施。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・アジア・アジアパラ競技大会開催期間前後の誘客を見据え、東アジア・東南アジア7市場(台湾、香港、韓国、タイ、ベトナム、シンガポール、フィリピン)をターゲットとして、現地での利用率が高い OTA と連携したプロモーションを実施。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・大河ドラマ「豊臣兄弟!」の放送にあわせ、高速道路事業者と連携してドライブマップを作成し、周遊を促進。

- ・ 鉄道会社と連携し、広く県民が参加できる街道ウォーキングイベントを実施。
- ・ 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送にあわせ、JR名古屋駅コンコースにインフォメーションセンターを設置。

【地域プロモーション(展示会産業振興基金 官民連携組織運営)】(国際展示場室)

- ・ 鉄道会社及び主催者と連携し、鉄道による来場促進や催事及び Aichi Sky Expo の認知向上を目的とした広告を駅構内や車内に掲出。

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空空港課)

- ・ 航空会社と連携したキャラバン隊の派遣やイベントなどを実施。

③商談会等の PR・プロモーション機会の提供

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 全国の旅行会社に対し、本県を目的地とする旅行商品の造成を働きかけるため、県内の市町村、観光協会、観光関連事業者等に対し、旅行会社とのオンライン商談会の場を提供。

【あいちの自然観光フェア開催】(観光振興課)

- ・ アウトドアファンを対象にしたイベント「DESTINATION AICHI」を開催することにより、県内の市町村・観光協会・事業者等に PR・プロモーションの機会を提供。

【日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 主として、2023 年に本県で開催した日台観光サミットの関係者や、2024 年に開催した商談会参加者を対象に、台北市にて現地旅行会社との商談会・交流会の場を提供。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 国内ランドオペレーターと県内観光事業者の商談会を東京・愛知で各 1 回開催し、具体的な旅行商品造成を促進。
- ・ 中国、香港、韓国の旅行会社と県内観光事業者を対象としたオンライン商談会を実施し、ビジネスマッチングの機会を設けることで旅行商品造成を促進。

④大規模イベント・プロジェクトにあわせた PR・プロモーション

【国際博覧会出展参加】(観光振興課)

- ・ 大阪・関西万博に出展し、愛知万博の理念継承、アジア・アジアパラ競技大会の PR、愛知・名古屋の魅力発信を目的として、ステージイベント等を実施。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ アジア・アジアパラ競技大会開催に向け、2025 年度に開催される WBM(世界放送者会議)及び WPB(世界報道会議)参加のために集まる報道関係者を対象にエクスカージョンを実施し、各国メディアによる本県の観光地に関する情報発信に繋げる。

【新規事業】ツーリズム EXPO ジャパン推進】(国際観光コンベンション課・観光振興課)

- ・ 「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」に、愛知県ブースや中部北陸 9 県による共同ブースを出展するとともに、特設ステージを設置し、PR を実施。

【国際芸術祭「あいち 2025」の開催】(国際芸術祭推進室)

- ・ 国際芸術祭「あいち 2025」を 9 月 13 日から 11 月 30 日まで愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなかを会場において開催。
- ・ 現代美術の国際展を基軸として、パフォーミングアーツ公演、ラーニング・プログラム、地元芸術大学や芸術団体との連携事業を実施。

【愛知万博 20 周年記念事業「愛・地球博 20 祭」の開催】(愛知万博 20 周年記念事業推進室)

- ・ 2025 年 9 月 25 日まで、愛・地球博記念公園において、愛知万博 20 周年記念事業「愛・地球博 20 祭」を開催。愛知万博の理念や成果を継承するとともに、愛知の魅力を発信。

⑤航空路線・外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 名古屋市等と連携し、「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」のクルーズコーナーに名古屋港ブースを出展することにより、名古屋港の効果的な PR を実施。

【航空需要の拡大に向けた取組】(航空空港課)

- ・ LCC を含む重点路線のアウトバウンドの促進。
- ・ 海外の航空会社に対するエアポートセールスの実施。
- ・ 中部国際空港を拠点とし、新たなイベントの開催や特別な体験を提供する「訪日外国人向けツアーの造成」等を実施。

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

【文化芸術継承】(文化芸術課)

- ・ 「あいち伝統芸能はじめてフェス」及び「あいち伝統芸能はじめて BOOTH」開催業務。

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【中部国際空港観光案内】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 5 県 1 市が共同で、中部国際空港の観光案内所を運営。

C. デジタル化・DX の推進

①スマートフォン上での PR・プロモーション

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 国際芸術祭「あいち 2025」と県内観光スポットを巡るモニターツアーを実施し、SNS 等での情報発信の促進。
- ・ 県民等による情報発信を促すため、ジブリパーク来園前後に訪れてほしい本県のお勧め観光スポット、体験、グルメなどを Instagram で投稿してもらうハッシュタグキャンペーンを実施。

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 在留ムスリム等により、愛知県内のハラル対応が優れた観光施設や飲食店等を、県内や母国に住むムスリムに向けて SNS で紹介してもらうハッシュタグキャンペーンを実施。

②デジタルを活用して最適化した PR・プロモーション

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ジブリパークチケット購入者の属性データ等を把握し、それに近い人々へ本県の観光に係るウェブ広告を配信。

③デジタルを活用したリアルタイムの PR・プロモーション

【中部国際空港観光案内】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 大型ビジョンでの観光情報等の放映。

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、時期や状況に応じてスポットの情報更新、コラム、特集を作成し、発信。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による PR・プロモーション能力の向上

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援。

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知県フィルムコミッション協議会事業として、県内フィルムコミッション (FC) 相互の情報共有を図るとともに、ロケの誘致や支援に係る能力向上を促進するため、意見交換会を開催。

②異業種・学術機関との連携による PR・プロモーション能力の向上

【包括協定を締結した各社店舗等での情報発信】(商業流通課)

- ・ 包括協定を締結しているコンビニエンスストアやスーパーの店舗で、パンフレットやポスターを通じて観光情報を発信。

展開分野Ⅲ 受入環境の整備

A. 高付加価値化の推進

①多様な宿泊ニーズへの対応

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「食」を含んだ高付加価値な宿泊コンテンツの造成・販売を支援することにより、多様な宿泊ニーズに対応。

②「新たな旅のスタイル」への対応

【ワーケーション促進】(観光振興課)

- ・ワーケーション客の受入れを考える地域に対し、プロモーション面の支援を実施。

【ブレッジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課)

- ・「あいち・なごや周遊観光パスポート」(愛知県観光協会発行)の広告・PR面での支援を通じて、出張客の「ついで観光」需要の創出と取り込みを促進。

【離島のワーケーション等推進】(地域振興室)

- ・離島におけるワーケーション・スタディケーションの推進。

B. 持続可能性の追求

①旅行者の属性、障がいの有無、言語、宗教・信条等に関わらず旅行を楽しめる環境づくり

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課)

- ・なごやめし普及促進協議会のPR協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(コンサルタント派遣事業)を実施。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ネイティブライター等専門人材を観光施設に派遣して多言語表記を検証し、ネイティブ目線を盛り込んだ解説文等を作成することによって、観光施設における多言語表記の整備を支援。

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・在留ムスリム等により、愛知県内のハラル対応が優れた観光施設や飲食店等を、県内や母国に住むムスリムに向けてSNSで紹介してもらうハッシュタグキャンペーンを実施。

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・利用登録した観光関係事業者(宿泊施設、小売店、飲食店、観光案内所等)に対して、コールセンターを活用した多言語通訳・翻訳サービスを実施。

【愛知県宿泊施設バリアフリー整備推進】(アジア・アジアパラ競技大会推進局計画推進課)

- ・第20回アジア競技大会及び第5回アジアパラ競技大会を見据え、県内の宿泊施設において障害のある方や高齢の方等、誰もが安全で快適に利用できる宿泊施設の環境整備を支援。

②地域資源の保全・活用

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・発酵をテーマにした体験コンテンツの造成により、愛知県の「発酵食文化」の保全・活用を促進。

③交通インフラの整備・交通アクセスの充実

【総合的なネットワークの充実】(リニア事業推進室)

- ・ 東海道新幹線ひかり・こだま停車駅の利活用に向けた取組推進。

【リニア中央新幹線の整備促進】(リニア事業推進室)

- ・ 期成同盟会(全国・県)を通じた要望、調整、啓発活動等の実施。

【中部国際空港の第二滑走路の整備を始めとする機能強化に向けた取組の推進】(航空空港課)

- ・ 中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国への働きかけ等。

【地域交通活性化】(交通対策課)

- ・ 新モビリティサービスの普及促進に向けたモデル事業の実施。

④安全・安心な旅行環境の整備

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ 観光施設の受入体制の整備を促進するため、市町村による施設の設置・改修に対する補助事業を実施。

【愛知県災害多言語支援センター設置】(多文化共生推進室)

- ・ 愛知県災害多言語支援センターの設置訓練や、市町村職員や市町村国際交流協会職員等を対象に、災害時の外国人支援に関する知識を習得するための講座を開催。

【愛知県救急医療情報システムによる外国人への医療情報提供の実施】(医務課)

- ・ 外国語対応可能な医療機関に関する情報を、音声及びFAXでは5ヶ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語)、インターネットでは4ヶ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)による外国語表示機能により提供。

【新規事業】あいち防災アクションプランの推進【防災危機管理課】

- ・ あいち防災アクションプランに基づく各施策の実施。

⑤オーバーツーリズム(観光公害)への対応

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課) -再掲-

- ・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施。

C. デジタル化・DXの推進

①デジタルを活用したバリアフリー対応、多言語対応

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」にて、バリアフリー情報を発信。
- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」とSNSにて、多言語で情報発信。

②デジタルを活用した移動や消費の円滑化

【ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知県観光協会と協力して、二次元コードを活用した「あいち・なごや周遊観光パスポート」を造成し、1台のスマートフォン(または1枚の紙チケット)で美術館・博物館等に入館できる環境を整備。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による受入環境の整備促進

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課) -再掲-

- ・ なごやめし普及促進協議会のPR協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティへの対応を支援するセミナーを開催。

展開分野Ⅳ 観光地経営体制の強化

A. 高付加価値化の推進

①観光コンテンツ造成やPR・プロモーションの能力強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会に対し、観光動態データ及び評価情報等のデータを活用して、観光コンテンツ造成やPR・プロモーション能力の強化を支援。

②観光施設等における受入力強化の支援

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課) -再掲-

- ・ なごやめし普及促進協議会のPR協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(コンサルタント派遣事業)を実施。

③「ツウ」な人でも満足できる観光ガイドの育成及びガイド団体との連携強化

【産業あないびと育成】(観光振興課)

- ・ 地域で活躍する観光ボランティアガイド等を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

④県民による県内観光の促進

【あいちの魅力発見ガイドツアー実施】(観光振興課)

- ・ 「あいちウィーク」期間中に、主として県民を対象にした、県内各地・施設でのガイドツアーやガイドプログラムを実施。

【全国通訳案内士指導】(国際観光コンベンション課)

- ・ 外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をする全国通訳案内士の申請登録等を実施。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な観光地経営体制の確立

【市町村・地域観光協会等の観光地経営体制の強化】(観光振興課)

- ・ 市町村・地域観光協会等が策定する観光振興計画等への助言等。

②観光関連産業の労働生産性の向上と人材確保

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課)

- ・ 宿泊事業者の経営者向けに、2024年度に実施した業務改善の成果の現場での活用に向けたセミナー及びワークショップを実施。

③観光需要の平準化

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課)

- ・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施。

【ブレッジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

- ・ 平日専用の「あいち・なごや周遊観光パスポート」(愛知県観光協会発行)を広告・PR面で支援。

【休暇を取得しやすい職場環境づくり】(労働福祉課)

- ・ 「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」の推進
- ・ 勤務間インターバル制度の普及促進

【家族と子どもが一緒に過ごせる仕組みづくり】(教育委員会)

- ・ラーケーションを導入する学校におけるモデル事業の実施や校務支援員の配置(小・中・義務教育学校 964 校、市立高等学校 1 校、市立特別支援学校 4 校、市立高等専修学校 1 校、県立高等学校 146 校、附属中学校 4 校、夜間中学 1 校、県立特別支援学校 32 校)。

【全国知事会を通じた「休み方改革」の推進】(地方創生課)

- ・「休み方改革」を国民運動として展開するため、全国知事会のプロジェクトチームの活動を推進。

④地域の観光関連産業をリードする人材の育成・確保

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 広く県民等を対象に、持続可能な観光の理念に基づくツアー造成を目的としたグループワークを実施するとともに、優れた企画を選定・表彰することにより、観光人材の育成を推進。

C. デジタル化・DX の推進

①地域における観光デジタル人材の育成・活用

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援。

②人流・消費データ等のデジタルデータを活用したマーケティング環境の整備

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員に対し、観光動態データを閲覧できる環境整備を実施。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村や地域観光協会、事業者を対象に、ジブリパークチケット購入者の属性等のデータや、ジブリパーク来園者の位置情報データ等を提供。

③観光 DX の推進による観光関連産業の労働生産性の向上

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課) -再掲-

- ・ 観光関連産業の中核である宿泊業を対象に、観光 DX を活用した業務改善に向けた助言を実施。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光地経営体制の強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等の開催。

②異業種・学術機関との連携による観光地経営体制の強化

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課) -再掲-

- ・ 宿泊事業者と、省力化・省エネに向けた支援や人材紹介を行う事業者等とのマッチングイベントの開催。

展開分野Ⅴ MICE の誘致・開催に向けた取組強化

A. 高付加価値化の推進

①テクニカルビジット・ユニークベニュー等の開発・活用促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ テクニカルビジットメニューの拡充。
- ・ 「愛知・名古屋ユニークベニューガイド」を更新・発信。

②高級ホテルなどの充実

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ さらなる高級ホテルの立地促進に向け、名古屋市と連携し、愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金制度の補助事業認定申請の受付を再開。
- ・ 開業済みの事業認定ホテルに対し、補助金を交付。

③開催支援メニューの充実

【催事開催支援(展示会産業振興基金 官民連携組織運営)】(国際展示場室)

- ・ Aichi Sky Expo への国際的な催事や全国的な産業見本市等の誘致を通じ、展示会産業の活性化を図ることを目的として、主催者が催事の開催に要する経費の一部を補助。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 大規模 MICE 参加者に対するおもてなしを図るため、レセプション開催支援やギブアウェイの提供などを実施。大規模の企業ミーティング・インセンティブ旅行に対し、貸切バスを提供。

④大規模イベント・プロジェクト等を活用した PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 商談会、見本市において、本県での大規模 MICE の開催実績とともに宿泊等の優れた都市機能を PR。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な MICE に関連する国際認証の取得等に向けた取組の促進と主催者等への取組の PR

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 参加する見本市、商談会や、ニュースレター等において、県内 MICE 施設のサステナビリティに向けた取組を発信。

【施設のサステナビリティ(持続可能性)に対する取組の情報発信】

(国際観光コンベンション課)

- ・ MICE 主催者等に対し、本県が持続可能性の観点から優れた開催地であることを PR するため、Aichi Now や台湾レップニュースレター等を活用し、MICE 施設や主要ホテルのサステナビリティに向けた取組の情報を発信。

②日本政府観光局(JNTO)との連携による MICE 専門人材の育成・活用等

【JNTO 研修員派遣(国際会議等誘致推進)】(国際観光コンベンション課)

- ・ JNTO ロンドン事務所への職員研修派遣により、MICE 専門人材を育成。

③県民・市町村等に向けた MICE 開催効果の理解促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 国内外の MICE キーパーソンや旅行会社に対して発信する、愛知・名古屋の最新の MICE 情報等をまとめたニュースレターを、MICE の開催地域における地域の機運醸成を図るため、構成団体等にも発信。

C. デジタル化・DX の推進

①デジタルを活用した PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 営業ツールのデジタル化を図るため、愛知・名古屋の MICE 開催地としてのポテンシャルを効果的に PR するための動画を作成。

D. オープンイノベーションの促進

①経済界・学術機関との連携による国際会議と展示会・見本市の誘致

【アジア開発銀行年次総会開催支援】(中小企業金融課)

- ・ 2027 年の第 60 回アジア開発銀行年次総会の開催地が愛知・名古屋に決定したことを受け、名古屋市及び経済界と連携して支援実行委員会を設立し、その成功に向けた支援活動を実施。

【AXIA EXPO 開催】(国際展示場室・産業立地通商課)

- ・ (株)日刊工業新聞社と連携して、2024 年度に立ち上げた「AXIA EXPO」を継続開催し、開催実績を積むことで、展示会会場としての Aichi Sky Expo のポテンシャルを周知し、他の産業展示会の誘致を促進。
- ・ 「AXIA EXPO 2025」では、カーボンニュートラル社会の実現をテーマとし、国内外の企業による先端技術の展示や商談を実施。また、アジアの企業や政府機関が出展する「アジアパビリオン」や、県内の中小企業・スタートアップなどが出展する「愛知県パビリオン」を新たに設置。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 国内で開催される MICE 見本市や商談会に出展・参加。

【新規事業】ツーリズム EXPO ジャパン推進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」の成功に向けて、開催地連絡協議会の活動を通じ、主催者の支援・協力を実施。

②経済界との連携による会議と報奨・研修旅行の誘致

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 東京都・(公財)東京観光財団と連携し、ミーティングプランナー等を対象としたイベントを開催。
- ・ 国内外で開催される MICE 見本市や商談会に出展・参加。
- ・ MICE 主催者を対象としたファムトリップを実施。
- ・ (一社)中央日本総合観光機構が実施するビジネスイベント推進事業に参画。

(参考)あいち観光戦略推進委員会

愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の 2024 年度の実施状況に関する議会への報告及び公表に当たり、2025 年 9 月 11 日(木)に、下表の委員で構成する「あいち観光戦略推進委員会」を開催し、当該実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏 名	所 属 ・ 役 職	出 欠
板垣 彩子	独立行政法人国際観光振興機構 MICE プロモーション部 次長	出席
袁 静	株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	出席
◎大澤 健	国立大学法人和歌山大学経済学部 教授	出席
クリス・グレン	有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	出席
鈴木 康生	名古屋市観光文化交流局観光交流部長	出席
西田 清人	一般社団法人日本ホテル協会 中部支部 事務局長	代理出席
西原 浩二	一般社団法人全国旅行業協会 愛知県支部 事務局長	出席
西村 哲治	公益社団法人日本観光振興協会 中部事務局長	出席
二神 真美	名城大学 名誉教授	出席
星野 道佳	一般社団法人日本旅行業協会 中部事務局 事務局長	出席
○横山 陽二	東海学園大学ともいき教養教育機構・経営学部 客員教授	欠席

◎…委員長、○…副委員長

2025 年度版
あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況
(2024 年度年次報告書)
2025 年 10 月発行

作成・発行
愛知県観光コンベンション局観光振興課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号
電 話 052-954-6353
FAX 052-973-3584
メール kanko@pref.aichi.lg.jp
web <https://www.pref.aichi.jp/site/tourism-promotion/>